

FFG調査月報

あなたのいちばんに。

FFG 福岡ファイナンシャルグループ

We look into your eyes, lend an ear to you, and engage with you.

Top Interview

 岩田 裕 氏 九州ペットフード 株式会社 代表取締役社長

 渡辺 美佐子 氏 有限会社 植木青果市場 代表取締役社長

 原 誠一 氏 株式会社 スワン 代表取締役



Season's Greeting

支店からの 便り

福岡銀行
戸畑支店

今回は、福岡銀行 戸畑支店からの夏の便りです。





戸畑祇園大山笠は210年を越える歴史があり、福岡県を代表する祭りの1つです。昭和55年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。博多祇園山笠、小倉祇園太鼓とともに福岡県夏の三大祭りと呼ばれています。

全国でも珍しく昼と夜でその姿を大きく変える山笠で、昼は絢爛豪華な幕類に彩られ、12本の大幟を立てた幟大山笠が、夜になると飾り物の一切をはずし、12段309個の「光のピラミッド」提灯大山笠へとその姿を変えます。

今年の戸畑祇園大山笠行事は7月21日(金)~23日(日)で行われ、祭りの中日に開催される戸畑祇園大山笠競演会では4基の大山笠と、中学生が担ぐ小若山笠4基の計8基が一堂に会し勇壮な競演となります。



西洋ノ近代歯科ヲ 導イタ先駆者。



虫歯、歯痛で苦しむ同胞は江戸期も少なくなかった。治療とは歯を抜くことである。抜歯は無麻酔。柘植を細工した入れ歯は存在したが、利用できたのは一部の富裕層、庶民は神頼みである。「一井正典。明治期に渡米して苦学し、西洋の近代歯科医学を導入した先駆者である。アメリカで歯科医院を開業した第一号の日本人でもある。笑気麻酔、陶材被覆冠、金属冠・ブリッジ…トシを重ねて歯科医院通いが繁くなる自らを省みて先人の恩恵を改めて思う。

確かな志があつたわけではない。五歳で明治維新、前年に両親を病で亡くした十四歳で西南の役。旧・人吉藩士の惣領として西郷軍に加わり、田原坂を生き延びた。人吉の町もまた、戦禍の敗残兵である。「明日」を託せない故郷を出奔同然に、たどりついた東京。偶然に出会った日本人牧師の誘いで米船に乗ったのがすべての始まりである。住み込みで働いた農場の主人がサンフランシスコの診療所を閉鎖して隠棲した元歯科医だったのは天恵であった。

それは聡明で勤勉な日本人の連環でもあった。かつての診療所では帰国して歯科医学院（東京歯科大の前身）を創設する高山紀斎が学び働いていた。正典が四年という時間



いちのい まさつね
一井正典

熊本県人吉市出身



geppou
最新情報を携帯からも
チェック！

1862年～1929年
(満66歳没)



一井先生誕生の地 (現在人吉カトリック教会)



所在地：人吉市寺町5-1

※写真提供：松本歯科医院 (人吉市)

をかけて生涯目標を定めることができたのはその縁と信頼による。農作業、牛馬の世話はもちろん、日常雑事から子どもの相手まで誠実に尽くした。主人は歯科医学を基礎から教授して正典を自らの母校であるフィデルフィア・デンタル・カレッジへ導いた。信頼と愛情の証である。

滞米九年。DDS (Doctor of Dental Surgery) の学位を得て卒業し、同校教師・開業医、オレゴン州歯科医師会教授を経て帰国。都内に開業、高山歯科医学院で後進を教育しながら治療法の研究・開発に貢献した。医師試験を審査する医術開業試験委員を務め、宮内省御用掛として明治、大正、昭和と三代天皇の診療に与つたのは第一人者たる誉れである。学院で同僚だった若き野口英世のよき相談相手として米留学に送り出した交友秘話を残している。

(文・山崎 潔)



- 2 九州を知る! マンスリーコラム 66
西洋ノ近代齒科ヲ導イタ先驅者。一井 正典

トップに聞く!
Top Interview

- 6 人とペットの生活をより豊かなものにするために、
自然の恵みを生かした
高品質のペットフードを提供する。

九州ペットフード 株式会社 岩田 裕 氏
福岡銀行

- 12 “栽(作)る人”と“食べる人”。
その絆を大切にしながら
女性の視点で市場を運営。

有限会社 植木青果市場 渡辺 美佐子 氏
熊本銀行

- 18 攻めのIT経営で、
最高の満足を提供するクリーニング店へ。

株式会社 スワン 原 誠一 氏
親和銀行

- 29 「世界の偉人」を知る
アントン・チャーホフ

- 30 地域と共生する FFG
茶のくに
八 女

- 44 寄稿
三菱総合研究所 MONTHLY REVIEW

- 50 九州の逸品 博多 おきゅうと

- 52 経営を語る! 吉越 浩一郎

- 54 DATA in 九州 今月の注目データ

- 56 経済動向・経済指標

- 80 見つけたアジア
香港 クォーリーベイ

- 82 ASIAN BOOKS
中国・春秋グループの経営戦略

- 84 九州の達人
日本犬全国展覧会 最高賞「柴犬・豊後帝姫号」 中野 哲也



出典：八田公子写真集「夏の風」2017年6月発行

今月の表紙

勇壮豪快「昇き山笠」

博多祇園山笠は770年以上の歴史と伝統を誇る、博多の総鎮守・櫛田神社の奉納神事です。7月になると静の山笠「飾り山笠」が建ち並び、動の山笠「昇き山笠」が博多の町を駆け抜けます。平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録され、日本を代表する祭りとして世界に発信されています。



■親和アートギャラリー

所在地	〒857-0806 佐世保市島瀬町4-24 親和銀行島瀬ビル1F
TEL/FAX	TEL: 0956-23-4856 FAX: 0956-23-4857
開館日時	平日(火曜日～金曜日)・土曜日10:00～16:00(入館は15:30まで)
休館日	日・月・祝日(土曜日が祝日の場合は開館)、年末年始12/31～1/3
鑑賞料	無料
展示作品	約140点(近現代絵画、陶磁器、アイコン(礼拝対象の宗教絵画)、彫刻)
駐車場	5台(うち1台は障がい者用駐車場)
館内設備	バリアフリー、多目的トイレ、手荷物ロッカー、車椅子

○ 今月の一枚 「親和アートギャラリー」

今月の一枚は、親和アートギャラリー(親和銀行島瀬ビル1F)です。同ギャラリーにおいては、常設展示の他、ふくおかフィナンシャルグループ設立10周年及び親和アートギャラリー開館5周年を記念して、今年4月から実施している特別企画展の第二弾「島内きみ展」或る風景」を7月12日(水)まで開催しています。

佐世保市を代表する画家の一人である島内氏は、野に咲く草花など、身近な事物を主題とした油彩画を好んで描きました。今回は1970年代の作品を中心に全7点をご紹介します。内5点が初公開作品となっています。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。
<http://www.fukuoka-fg.com/>

— Top Interview —

トップに聞く!

 福岡銀行

人とペットの生活をより豊かなものにするために、
自然の恵みを生かした
高品質のペットフードを提供する。

九州ペットフード株式会社
代表取締役社長

岩田 裕氏

取引店／福岡銀行 古賀支店



本社工場前(左から岩田社長、柴戸頭取)



ペットフードという名の

「食品」を製造

我が社では、「人とペットのよりよき関係を目指し、自然の恵みを生かした品質の高いペットフードの製造に社会的使命と大きな誇りを持ち、誠心誠意、心を込めて製品を創り続ける」という経営理念のもと、「安心安全」をモットーに、ペットフードという「食品」を、お客様やペットの気持ちになって製造しています。

我が社の創業は1993年（平成5年）。大の犬好きである父・澄博（現・会長）が、食品会社に勤める中でペットフードメーカーの利益率の高さに着目し、ペットフード市場に将来性を感じる一方で、多くの添加物が使用されていた当時のペットフードの状況に疑問を抱き、「もっと良い原材料を使って、添加物を極力使用しないペットフードを、自分の手で作りたい」という想いで、勤務先の食品会社を退職。福岡県古賀市で「九州ペットフード株式会社」を創業し、従業員5名でペットフードの製造を始めました。

そして、創業から24年間、「単なるエサではなく、家族の一員であるペットの健康を考え

た食品を作る」という考えに基づき、人間の「食品」として流通しているもののみを原材料として使用し、また添加物についても法律で食品製造にあたって許可されているものを最低限使用するなど、こだわりを持ってペットフードを製造し続けてきました。現在では、犬用のおやつを中心に、自社ブランドとOEM（他社ブランド品の生産）を合わせて約350品目のペットフードを製造・販売しています。

主力製品は

「ジャーキー」と「ササミ」

我が社が製造するペットフードは、そのほとんどが犬用のおやつですが、その中でも「ジャーキー」と「ササミ」の二つが主力製品です。

「ジャーキー」は、牛・豚・鶏・マグロ等の肉を「真空ボールカッター」と呼ばれる機械で細かく粉碎し、必要最低限の添加物を加えながら、真空状態でムラなく均一に練り混ぜて成型した後、400℃の高温で一気に焼き上げ旨みを閉じ込めた後、熱風乾燥で殺菌し減圧乾燥にて水分を均一に仕上げます。また「ササミ」は、鶏肉のなかでも低脂肪の鶏ささみ



肉を使用し、「真空ニードラー」と呼ばれる機械で原材料を攪拌し、減圧乾燥機で乾燥させてつくります。

安心安全で美味しいペットフードづくりに向け、我が社では厳しい受け入れ検査に合格した原材料のみを使用して生産し、最終検査（一般性菌数・大腸菌・水分検査・異物検査等）に合格した製品のみ出荷しております。

人間用の食品と同様の 厳しい品質管理

我が社のペットフードづくりにおけるもう一つのこだわりは、徹底した品質管理です。「食品」を製造する企業の責任として、あらゆるリスクを徹底的に排除する必要があると考え、人間用の食品製造以上の厳しい管理体制を整えています。

具体的には、「ペットフード安全法」に則って製造するのは当然のこととして、2003年（平成15年）のISO9001（※1）の認証取得にはじまり、2009年（平成21年）にISO22000（※2）、2011年（平成23年）にISO22005（※3）、そして

2012年（平成24年）にFSSC 22000（※4）とより厳しい品質管理の国際認証を取得し、原料の成分分析から、焼き上げ・乾燥温度管理、半製品の水分管理、細菌検査、異物検査など、さまざまな検査や品質管理を実践しています。特に最終工程における異物検査において、ペットフード製造業界の工場で初めてX線異物検出装置を導入するなど、安心安全な「食品」の製造に注力しています。

自社商品



▲ご馳走おやつ 国産牛肉



▲愛情レストラン 鶏ささみ細切り



5 4



- 1.真空ボールカッターでビーフジャーキーの原料を混合。
練上げ時の水分量は生肉と同じ約73%から50%になるよう調整
- 2.入荷した原料は水分、脂肪分、たんぱく質などの成分検査や一般菌数、大腸菌などの衛生検査を実施する
- 3.「ご馳走ささみ」を計量器で計量し、包装パック
- 4.乾燥させたジャーキーを機械でカット
- 5.ビーフジャーキーは既定の寸法に裁断され、二次乾燥へ。整列の際、目視検査により形状不良のものは除去される



▲最前列左3番目から岩田会長、岩田社長、柴戸頭取、馬郡支店長(福岡銀行)、岩田専務

またこうした厳しい品質管理体制は全従業員の理解があつてこそ維持できるものとの考えから、現在、社員教育に注力しており、我が社の品質管理の考え方を全従業員に徹底するようにしています。

(※1) 品質マネジメントシステムの国際標準規格。製造やサービス提供といった業務の維持や改善によって、製品やサービスの質の向上を図ることを目的としている。

(※2) 食品安全マネジメントシステムの国際標準規格。食品に関するすべての製造過程において、食品危害を防ぐことを目的としている。

(※3) 飼料及びフードチェーンにおけるトレーサビリティシステムの国際標準規格。生産履歴・製造工程に係る情報伝達が行われ、経路の透明性が確保できるため、食品に予期せぬ問題が生じた場合、製品の不適合の原因識別・商品回収・撤去が容易となる。※適用範囲…愛情レストラン、ビーフジャーキーロング460g、ご馳走ささみ、宮崎県産鶏ささみ細切り70g

(※4) 食品製造業界に向けた、食品安全マネジメントシステムの国際規格。ISO22000の条件をより厳格に定めている。

人とペットの生活を

より豊かなものにすることを目指す

我が社ではこれまで「ペットのことを考えた商品開発」を実現すべく、エンドユーザーへのアンケート調査、獣医や専門機関との意見



1.2.3.見学風景 4.岩田社長

交換を行うとともに、試作品の成分分析や安全性の確認も行いながら、商品開発に取り組んできました。最近では「ペットも家族の一員」という考え方が浸透してきたこともあって、ペットの健康を意識したペットフードの売れ行きが良くなっています。我が社では引き続き安心・安全・美味しいを基本に、ペットの健康を考えた商品開発を推進し、人とペットの幸せな生活とペットの健康寿命延伸に貢献します。さらに今後は、ペットの飼育頭数が増加傾向にある海外への輸出にも注力していきます。特に、台湾や香港、中国等のアジア圏では日本産のペットフードに対する需要が高まっています。既に香港への輸出は行つて

いますが、その他アジア地域への輸出拡大を目指し、輸出ライセンスの取得や販売ルートの確立等、必要な準備を進めています。

最後になりますが、今やペットは私たち人間にとって大切な家族の一員であり、たくさんの安らぎや癒しを与えてくれるかけがえない存在です。少子高齢化が進む現代で、飼育環境やマーケットは大きく変化してきましたが、大切なペットたちに安心安全な食事を与えたいという飼い主の想いは、いつの時代も変わることはありません。我が社はペットフードの製造と供給を通じて、人とペットの生活をより豊かなものにすることを目指し、これからも変化を恐れず挑戦してまいります。



インタビューを終えて



九州ペットフード株式会社様のペットフードは、愛犬用のおやつ分野で全国でも高いシェアを誇っておられます。地元九州産を中心とした原料を使用され、人の「食品」と同等以上の品質管理体制のもとで製造されるなど、「安心・安全で健康面まで考えた『食品』を、家族の一員であるペットに与えたい」という岩田社長の熱い想いがひしひしと伝わってきました。

今後は、海外への展開も進められ、国内外に「より美味しく、健康的な商品」を提供され続けることを期待しています。

福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成



植木青果市場(左から渡辺社長、竹下頭取)

— Top Interview —

トップに聞く!

熊本銀行

“栽(作)る人”と“食べる人”。
その絆を大切にしながら
女性の視点で市場を運営。

有限会社 植木青果市場
代表取締役社長

渡辺 美佐子氏

取引店／熊本銀行 植木支店



始まりはでんぷん製造工場

我が社の創業は1969年(昭和44年)。

元々植木町で地元産のさつまいもを原料にしたでんぷん製造工場を営んでいた私の夫の渡辺清晴(現・会長)が、「農産物を単なる食べ物としてではなく、裁(作)る人の気持ちを食べる人に伝える仲介者としての役割を担いたい」との理念のもと、植木町で青果市場(地方卸売市場)の営業を開始したのがはじまりです。それまでのさつまいもの取引の中で農家の方たちを取り巻く環境の厳しさを知り、生活の支えになるようなことをしたい、という強い思いが生じたことがきっかけだったようです。

私が入社したのは2005年(平成17年)。それまでずっと専業主婦をしていた私に、突然会長が専務として入社するように要請してきたのです。当然、主婦業から事業家へと転じることに戸惑いがあったことは事実です。また、この頃は市場法も改正され、時代の変化とともに、市場も独自性を持った努力を強いられる時期でもありました。重ねて、農家の後継者不足や休耕地の問題が大きく顕在化するとともに、卸売市場の取扱高も減少

の兆しが見え始める等、周辺環境は厳しく、2011年(平成23年)に社長に就任した後も苦難は尽きませんでした。なんとか今日まで事業を続けてきました。そんな私の心の支えとなったのが、会長の「一工夫、二働き」という言葉。これは「一人が一人分の仕事をするのは当たり前、一人で数人分の仕事をするような工夫(工夫)をしろ」という意味です。これに加えて、私の母から教えられた「人にやれて己(自分)にやれぬことはない。己にやれぬのは努力せぬからだ。」という2つの言葉が、今も私の行動指針となっています。

新鮮、そして安心・安全な 青果物を提供

現在我が社では、地元植木町の特産品であるスイカをはじめ、メロン、みかん、たけのこ等、熊本県産品を中心に九州各地、そして時期によっては北海道や東北などから、年間を通じて旬の美味しい青果物を集荷し、全国へ出荷しています。

旬の美味しさ・新鮮さを消費者の皆様味わっていただけるよう、我が社では創業当初





から「タゼリ（夕方からの競り）」を実施しています。これは全国に先駆けて開始したもので、県内外の様々な青果物を昼間に集荷し、夕方5時半から競りを行うことにより、気温が下がった夜に鮮度を保ちながら販売地へ運搬でき、翌日の朝には販売店がその青果物を売ることができるようになります。

また安心・安全で美味しい独自ブランドの青果物出荷にも取り組んでいます。トマトなどの数種類の野菜について、土づくりからこだわり、低化学肥料・低農薬で栽培されたものを「宝りんシリーズ」としてブランド化しています。宝りんシリーズの野菜は誰がどこでどのように栽培したか等、生産履歴も明確にしていることから、安心・安全な青果物として自信を持ってご提供しています。

環境に対する様々な取り組み

我が社では一般の方々も参加できる「庭木のセリ市」も開催しています。このセリ市は「花と緑に包まれた美しい街づくりに貢献したい」との思いから、1973年（昭和48年）に開始したもので、毎年11月から翌年3月まで、

庭木・花・鉢物・その他ガーデニングにふさわしい品々を全て競りによって販売しています。期間中、多いときは1日に約2,000人の方々が参加し、普段味わうことのできない競りの醍醐味を楽しんでいただいています。家庭の庭先に緑が増えることによって、CO₂削減にも貢献できれば、と考えています。

また我が社は、青果市場として全国で初めて「Cフルート段ボール」を導入しました。Cフルート段ボールは、一般的な段ボールと同程度の強度を維持したまま薄型化したもので、生産に必要な紙やエネルギーを減らすことができます。ほか、段ボールの保管・輸送効率の向上も図ることができると、環境にやさしい段ボールとして普及が進んでいるものです。我が社では現在、イチゴやトマトを入れる5キロ箱でこのCフルート段ボールを使用しています。

昨年熊本県の「ブライト企業」に認定

企業が成長を続けていくためには、全社員が「うちの会社はいい会社だよね」と感じ、



1. 野菜や果物の鮮度を保つために全国的に珍しいタゼリを実施
2. 今春、市場の屋根の全面改装を実施
3. タゼリに向けて続々と農産物を入荷
4. 土づくりからこだわり、低化学肥料・低農薬で栽培された「宝りんシリーズ」
5. 植木青果市場から町の特産品を全国へお届け
6. 一般の消費者も競りに参加できる「庭木のセリ市」では、庭木・花・鉢物等が出荷される
7. 「ブライト企業認定証交付式」で熊本県の田嶋徹副知事と



▲前列左から河部部長、岩寄部長、渡辺部長、上田部長、渡辺社長、竹下頭取、藤本支店長(熊本銀行)

自らの能力を十分に発揮できる企業であることが重要である、との考えから、働きやすい職場づくりに注力しています。具体的には、女性を競り人（女性の競り人は九州で3人目）や営業に登用するとともに、内勤の男性社員を増やすなど、どの部門においても男女の隔てなく活躍できるようバランスの取れた組織を構築しているほか、労働環境面でも、残業が発生してしまうタゼリに関わる社員においては交替で「ノー残業デー」を設けたり、女性社員は育児や授業参観など家庭の事情にも対応できる体制を整えています。その結果、現在我が社には20年以上勤務する社員が多数在籍し、また最高で80歳の社員も活躍しており、昨年には、熊本県の「ブライト企業（※）」の認定を受けることができました。今後も、社員とともに成長を続けることのできる企業でありたい、と決意を新たにしたいと考えています。

（※）ブライト企業…働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を意味する熊本県の造語。県内企業で働く従業員がいきいきと働き続けられるよう、労働環境や処遇の向上を推進するとともに、従業員や求職者から見た企業の魅力づくりを通じて、県民の県内就職促進を図るため、熊本県が募集、認定している。



1.2.3.見学風景 4.渡辺社長

目指すは「ハブ市場」と 販路拡大

今後目指しているのは「ハブ市場」化です。九州自動車道の植木IC近くに位置する好立地環境を活かし、今まで以上に九州一円から青果物を集めて出荷する「ハブ市場」となることを目指しています。

あわせて、2014年(平成26年)に設立した関連会社「株式会社ハートベジフル」を活用した青果物の直接販売拡大にも注力していきます。ハートベジフルでは現在、大手ホテルやコンビニ、温泉旅館等へ青果物を卸販売しているほか、神奈川県の上越伊勢丹の店舗

にて熊本県産品を販売する「くまもとマルシェ」を運営しています。今後は、事業拡大を目指す生産者との連携を強化し、こだわりの詰まった特産品を開発するとともに、全国へ販売していくことで地元産業の活性化に貢献できればと思っています。

最後になりますが、我が社が創業以来目指しているのは、「作り手(生産者)善し、買い手(仲買人)善し、売り手(我が社)善し、社会(消費者)善しの四方同時善しの実現」です。今後もこの目標実現に向け、安心・安全で美味しい農産物の提供に努め、会長がここ熊本の大地に蒔いた種を大きく育てていく考えです。



インタビューを終えて



熊本銀行
取締役頭取 竹下 英

当社は地方卸売市場として栽人と食べる人を仲介する大切な役割を担っておられます。消費者に新鮮な青果物を提供したいという思いから、全国に先駆けて「タゼリ」を始められました。また、環境に配慮した取り組みとして実施されている「庭木のセリ市」は一般の方々も参加できる競りとして大変好評です。

今後、九州の青果物の「ハブ市場」としてますます発展されるとともに、全国に地元熊本・九州産の美味しい青果物を届けられることで、地元産業の活性化にも貢献されることを期待しています。

— Top Interview —

トップに聞く！

親和銀行

攻めのIT経営で、
最高の満足を提供するクリーニング店へ。

株式会社スワン
代表取締役

原 誠一氏

取引店／親和銀行 東長崎支店

本社工場前(左から原社長、吉澤頭取)



クリーニングの外交営業により 事業を拡大

我が社の創業は1970年（昭和45年）。中学校卒業とともに大阪へ集団就職をした私は、長崎に戻った後、長崎市内のクリーニング店で勤務しました。その後、23歳で独立を果たし、長崎市矢の平町で「原クリーニング店」を開業しました。

独立前からクリーニング品の外交営業（クリーニングの御用聞き）を得意としていた私は、独立後も営業を精力的に続けたことで、多くのお客様からご用命を賜わることができ、事業は順調に推移していきましたが、独立以降常に二人三脚で歩んできた妻の他界によるショックで一時は廃業も考えた時期もありました。しかし、周りの方たちの支えもあり、子ども達の未来のためにも、なんとか立ち直り、1986年（昭和61年）に「株式会社スワン」を設立。店舗名も「スワン・ドライ」に改称し、長崎県内の食品スーパーマーケットや複合商業施設などに直営店舗網を拡大させていきました。

その後、クリーニング業界は1992年（平成4年）をピークに需要の減少が続く、

長崎県内においても多くの同業者が淘汰され、廃業が相次ぐなど厳しい環境に陥りましたが、我が社は多くのお客様との取引を大切にしながら、長男・伸也（現・専務）や二男・竜一（現・常務）、三男・定晴（現・係長）をはじめとした若手による新たな取り組みも次々と実施することで、2011年（平成23年）には本社工場を長崎市古賀町の現在地に拡大移転するなど、順調に事業拡大を続けてきました。現在では長崎県内に直営店41店舗、取次店※8店舗を展開するまでに至っています。

（※）クリーニング品のお預かり及びお引渡しのみを行う、直営店以外の店舗。

素材に合わせた洗淨方法で 驚きの白さを実現

我が社では、店舗でお預かりした洋服等は毎日本社工場へと配送し、クリーニング作業を行っているのですが、お預かり品のシミ・キズの有無やポケットの中を店舗と工場で一点一点確認を行った後、ボタンを保護する等、事前点検をしっかりと行なった後、素材に合わせた適切な洗淨方法でクリーニングしています。



そして、クリーニングの工程においても洗淨力を向上させるために様々な工夫を導入しています。例えば、水洗いできるワイシャツなどは温水で洗淨し、すすぎ工程に移るのですが、我が社では除菌された温水を使って洗淨を行なうとともに、すすぎ工程でも温水を使用することによって、汚れをより取り除くようにしています。

また、油性汚れを落とす際には、洗淨に水を一切使用しないドライクリーニングを行います。ドライクリーニングでは、水の代わりに専用の溶剤で洗うのですが、我が社では最新型の大型洗濯乾燥機を3台導入し、洗淨力が高いながらも風合いの変化が起りにくい洗い方を採用しています。なお、この最新型の大型洗濯乾燥機を保有しているのは、長崎県内では我が社だけです。

お客様に喜んでいただくため、徹底的に仕上がりこだわる

我が社は洗淨だけでなく、仕上げ工程にもこだわっており、熟練の職人が立体整形プレス機等を活用しながら、丁寧に仕上げを行って

います。とくにエリの仕上がり具合は我が社の自慢で、着用や洗淨による型崩れや、縫い目の縮みを修復する仕上げを施すことで新品のような仕上がりを実現しています。

また、ウール素材のズボンやヒダスカートなどのクリーニングにはシャープな折り目をつける形状記憶加工「シロセット折目加工」を行っています。この加工を行なうことで、雨に濡れ



▲「攻めのIT経営中小企業百選2017」記念式典の様子(最上段左から5人目が原常務)



- 1.スカート類は折り目一つ一つにアイロンを掛ける
- 2.全店舗のPOSレジをオンライン化
- 3.立体整形プレス機による丁寧な仕上げ
- 4.大型洗濯乾燥機でドライクリーニング
- 5.一点一点丁寧にしみ抜き
- 6.ズボンの折り目が重ならないよう片足ずつプレスやアイロンを掛ける
- 7.一点一点、形やサイズが異なるため仕上げは全て手作業で行う



1.2.3.見学風景 4.原社長

商品情報、工場作業データなどのビッグデータを活用してヒューマンエラーを無くすための、「ビッグデータ分析エンジン」も業界で初めて開発しました。更にその後、全店舗のPOSレジをオンライン化し、受付データをサーバーに集約して、顧客管理、商品管理、売上管理分析、そして工場の作業工程まで一貫管理するシステムへと進化させ、全ての部署・店舗で全ての情報を共有可能にするとともに、全店統一で利用可能な会員制度やプリペイドカード発行等の新サービスの開発にもつながってきました。こういった取り組みは全国に先駆けて実施した画期的なシステムとの評価をいただき、今年5月には経済産業省の

「攻めのIT経営中小企業百選」の選定・表彰もクリーニング業として初めていただくことができました。

最後になりますが、クリーニング業界は20年以上にわたり需要の減少が続き、淘汰や廃業が進んでいましたが、近年は人口減少等を背景に、取り巻く環境はより一層厳しくなっています。そのような中、我が社はお客様にご満足いただけるサービスの徹底と、攻めのIT投資による管理システムを活用することで、店舗数及び売り上げを伸ばしてまいりました。今後もスマートフォン向けのアプリ開発などIT化をさらに進め、お客様との良好な関係を構築していきたいと考えています。



インタビューを終えて



工場での作業工程を見学させていただき、その手間の多さと、熟練社員の方々の職人技に驚かされました。お客様からお預かりした商品はそれぞれ素材やサイズが異なっているため、一枚一枚人の手によって丁寧にプレスされています。その丁寧な作業工程から、「お客様の大切な商品を取り扱っているのだ」という気持ちが社員の皆様から感じられました。

今後も、IT化をさらに発展させることで、事業の効率化を高め、ますます広範囲に事業を展開されることを期待しています。

親和銀行
取締役頭取 吉澤 俊介

トップに聞く

会社概要

ふくおかフィナンシャルグループでは、
ブランドスローガンである
「あなたのいちばんに。」
の実践に努めています。





ひがなが
東長崎はよかところ、きてみんね！



九州ペットフード 株式会社

「安心安全」をモットーに、犬用のおやつを中心として、自社ブランドとOEMを合わせて約350品目のペットフードを製造・販売しています。「食品」を製造する企業の責任として、あらゆるリスクを徹底的に排除する必要があります。人間用の食品製造以上の厳しい管理体制を整えています。これからも安心・安全・美味しいを基本に、ペットの健康を考えた商品開発を推進し、人とペットの幸せな生活とペットの健康寿命延伸に貢献してまいります。



- 創 業：1993年
- 設 立：1993年
- 所 在 地：福岡県糟屋郡新宮町
- 資 本 金：4,500万円
- 従 業 員：125名
- 事業内容：ペットフード製造・販売
- 事業拠点：
 - (本社工場) 福岡県糟屋郡新宮町
 - (営 業 所) 東京都中央区
大阪府大阪市浪速区

■取 引 店： 福岡銀行
古賀支店
092-943-3361



▲ご馳走おやつ
国産牛肉



有限会社 植木青果市場

植木町で地方卸売市場を運営し、地元の特産品であるスイカ等熊本県産品を中心に、年間を通じて旬の美味しい青果物を集荷して全国へ出荷しています。旬の美味しさ・新鮮さを消費者の皆様にも味わっていただけるよう、創業当初から「タゼリ(夕方からの競り)」を実施しています。これからも、生産者との連携を強化し、こだわりの詰まった特産品を開発するとともに、全国へ販売していくことで地元産業の活性化に努めてまいります。



▲植木町のスイカ



- 創 業：1969年
- 設 立：1969年
- 所 在 地：熊本市北区
- 資 本 金：3,500万円
- 従 業 員：75名
- 事業内容：
青果物卸売業者として県内外の
野菜・果実の集荷と卸売
花・庭木のセリ市(11～3月まで)
- 事業拠点：熊本市北区
- 関連会社：
株式会社ハートベジフル

■取 引 店：熊本銀行
植木支店
096-272-0109



株式会社 スワン

長崎県内にクリーニング店「スワン・ドライ」を直営で41店舗、取次で8店舗を展開しています。お預かりした洋服等は、素材や汚れに合わせて適切な方法で洗浄し、熟練の職人が一点一点丁寧な仕上げを行っています。現在、全社を挙げて業務管理のIT化を進めており、その結果、経済産業省からクリーニング業界で初めてとなる表彰もいただきました。今後もスマートフォン向けのアプリ開発など、お客様へのサービス向上に寄与する取り組みを続けてまいります。



▲「攻めのIT経営 中小企業百選」に選定



- 創 業：1970年
- 設 立：1986年
- 所 在 地：長崎県長崎市
- 資 本 金：1,000万円
- 従 業 員：180名
- 事業内容：繊維製品のクリーニング
- 事業拠点：
 - (本社工場) 長崎県長崎市
 - (営業店舗) 直営41店舗、取次8店舗
 - 長崎県長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、雲仙市、長与町、時津町、佐々町

- 取 引 店：親和銀行 東長崎支店 095-839-2425

「世界の偉人」を知る



profile No.12



(C) CSU Archives/Everett Collection /amanaimages

アントン・チェーホフ

Anton Chekhov

1860~1904

出身国：ロシア

劇作家、小説家（代表作：戯曲『かもめ』・『三人姉妹』、小説『幸福』・『芦笛』）

— 名言 —

知識は実践するまで価値がない。

Knowledge is of no value unless you put it into practice.

愚者は教えたがり、賢者は学びたがる。

The wise love to learn, while fools love to teach.

八女

茶のくに



八女市は福岡県の南部、福岡市から南へ約50kmに位置し、北は久留米市、広川町、西は筑後市、南は熊本県、東は大分県に接しています。

豊かな大地に育まれた八女は、古代から栄え、八女丘陵には岩戸山古墳をはじめ多くの古墳があります。また、手すき和紙・仏壇・提灯などの伝統工芸品や八女茶・電照菊・椎茸などの農産物も自慢です。

八女の文化や歴史に触れ、ゆっくりと過ごしてみませんか。

寄稿：八女市企画財政課



NYで「八女伝統本玉露」をPR



八女伝統本玉露を世界へ

3月9日。アメリカで昨年12月にオープンし、早くもミシュラン三つ星を獲得すると言われている注目のレストラン「シングルスレッド」と提携し、現地の有名レストランシエフやマスコミ関係者、輸入業者ら20人を限定招待し、「八女伝統本玉露」のプロモーションを行いました。

これは、「八女伝統本玉露」を世界のスーパーブランドにする果てしない夢への第一歩でした。

八女では、平成31年までの3年間で、国内外高級レストランでのメニュー採用10店舗を目指すとともに、世界のクリエイティブへの販路を構築します。当面は世界の食文化、情報が集まるニューヨークと東京を中心に進めていきます。

八女伝統本玉露とは

玉露は緑茶の一種ですが、煎茶と異なり、茶葉の収穫前に日光を遮る被覆を施すことで、まろやかな旨味とコクを高めた高級茶葉です。その中でも、伝統的な技法にこだわり作られている最高品質の玉露が、「八女伝統本玉露」です。年間の生産量はわずかに12トン（平成27年度）しか生産されないため希少性の高いものとなっております。



影響力のあるトップシェフ、マスコミ関係者などが「しずく茶」を試飲。感謝の声が上がる



八女伝統本玉露のアイコン的な飲み方「しずく茶」

多くの玉露生産地では、化学繊維による被覆や機械積みによって効率化しているところもありますが、八女は品質へのこだわりと110年以上守り継承している伝統的な技法を頑なに守り続けました。福岡県茶業振興推進協議会では、「八女伝統本玉露」の基準を設けブランドの信頼性を高めています。

(特性)

茶葉収穫前に稲わら等の天然資材で被覆することにより「覆い香」といわれる香氣成分の含有量が高い茶葉が生産されます。味は、濃厚で非常に旨味が強く、「まろやか」で「コク」があります。

八女は職人のまち 受け継がれる伝統工芸

1. 八女福島仏壇【国指定伝統工芸品】八女福島仏壇は木地・彫刻・金箔・漆・蒔絵などの多くの職人が関わり分業で製造されるので、仏壇は総合芸術だと言われています。2. 八女提灯【国指定伝統工芸品】仏壇と同じように分業制で製造されます。土台作りから絵付けまで伝統の技が光ります。3. 八女手すき和紙【県指定特定民芸品】繊維の長い地元産の楮こうぞを主原料としているので、引きが良くコシのある、強靱で優美な和紙ができることが特徴です。

八女の歴史は伝統工芸品とともに歩んできた歴史でもあります。仏壇や提灯は江戸時代から、手すき和紙は400年以上前から、石灯籠の八女石工の歴史は古墳時代の「石人・石馬」までさかのぼることもできます。

昔ながらの街並みの中で、磨き上げられた職人の技が今も息づいています。

職人の工房を訪ねながら、街並みを散策したり、美味しい八女茶を飲んで休憩したり、ゆつくりと八女を味わってみませんか。



1



2



3





5



5



6



6



4

4. 八女矢【県指定特産民芸品】弓道の矢として全国の弓道家に愛用されています。矢飛びの良さと美しさは全国的にも有名です。 5. 八女竹細工【県指定特産民芸品】八女は良質の竹の産地で、それを使って丈夫で長持ちする竹細工を作ること知られています。お茶摘みで使うテボ(カゴ)も作られ、生活のなかで息づいています。 6. 八女石灯籠【県指定特産民芸品】市内で切り出される加工に適した阿蘇凝灰岩で、春日灯籠、雪見灯籠などが作られています。 7. 八女和ごま【県指定特産民芸品】昔から子どものおもちゃとして親しまれてきたごま。「福が回る」「金回りがよくなる」ともいい、縁起物としても人気があります。



7



7

伝統工芸をもっと知る



詳しくはこちらで！



八女伝統工芸館

ものづくりのまち八女の伝統工芸品が展示・紹介されており、伝統技術の素晴らしさを感じていただけます。



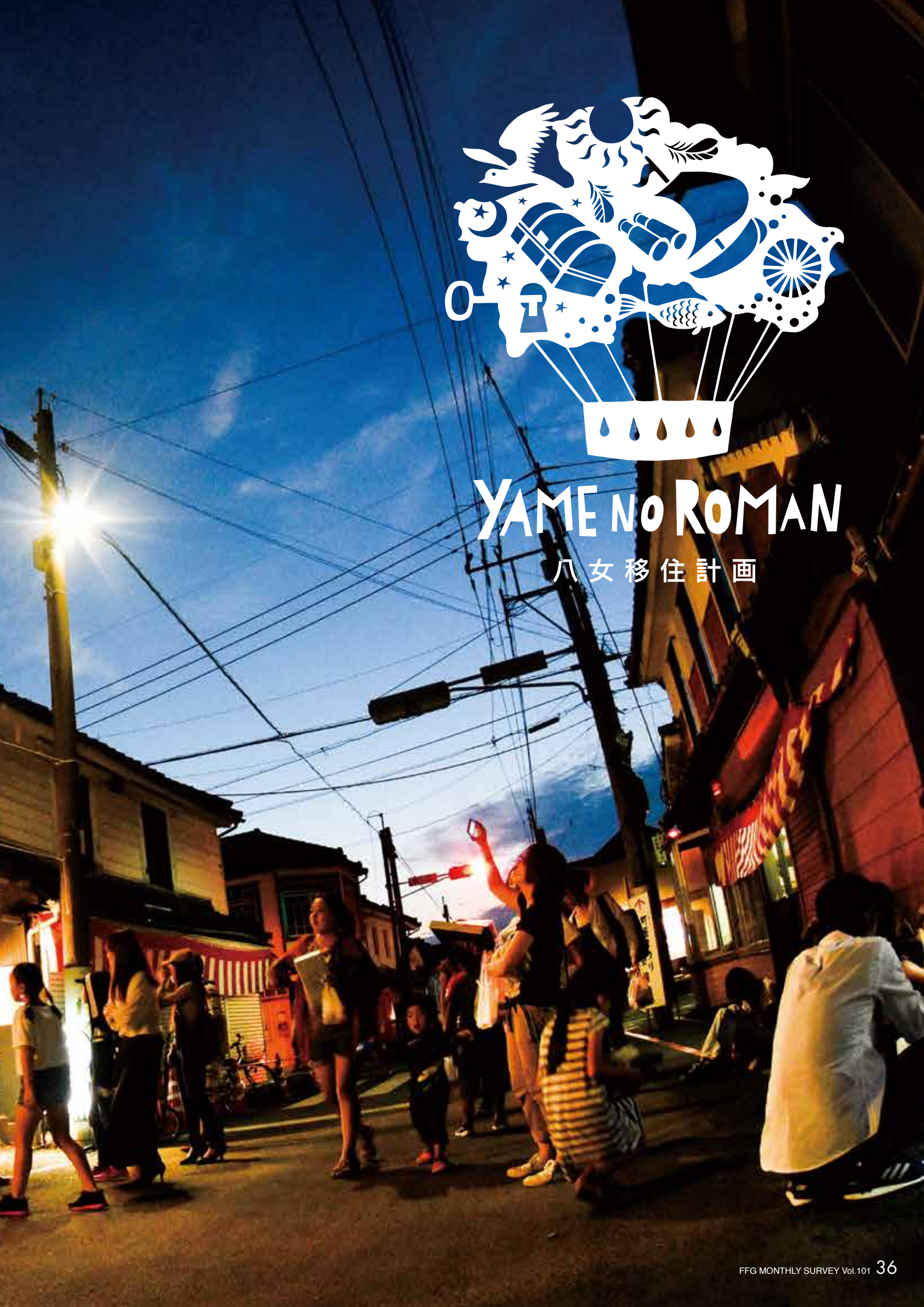
八女手すき和紙資料館

職人による実演見学や手すき和紙体験ができます。ハガキ・名刺などを作りながら楽しく和紙作りの工程を学べます。



YAME NO ROMAN

八女移住計画



誰の胸にも

「このまちに暮らす

確かな理由」がある

当たり前のことですが、移住・定住の仕事とは、人口を増やすことです。もちろん、医療や教育など社会の大切な仕組みを続けるには、それを支える人の数が必要で、重要なテーマです。最近の人口のデータはどれも、市内どころか国の人口が減っていることを示しています。この状態が続けば、私たちのまちなちを含む全国の多くのまちが消滅するといふ本もたくさん売れました。

しかし、人口の問題は「数だけでは解決しない」と感じています。消え失せることなくいつまでも続くまちには、データにこそ表れませんが、そこに暮らす人の熱いハートが必要です。それは、誰の胸にも「このまちに暮らす確かな理由」があると思うからです。もし、「量」だけが人を幸せにするものならば、東京はますます大きくなっていくことでしょう。

私たちの暮らす八女は、大自然が残り肥沃な大地や歴史、伝統の技が静かに息づく豊かなまちです。そしてこの地を舞台に「夢」に向かう熱い人たちがいます。「八女のロマン」と名付けられたこのプロジェクトは、八女にある可能性の大きさを伝え、それにチャレンジする人たちを応援する取り組みです。



ブランコのある市役所

移住・定住相談コーナーを開設



八女産の木材をふんだんに使用した温かみのある空間

八女市役所内に移住・定住の総合的な相談窓口となる「八女市移住・定住支援センター」がオープンしました。当センターの主な取り組みを紹介します。

移住・定住相談

移住・定住に関する相談や問い合わせに応じます。住まい・結婚・子育て・教育等に関する支援制度の紹介を行い、移住・定住地としての魅力をPRしています。また、転入者のみならず、市民の方への新築マイホームや中古住宅の取得に係る補助金、さらには今年度からの新規事業である賃貸住宅の家賃補助金等の受付も行っています。都市圏で開催される移住フェア等にも積極的に参加し、八女での暮らし方や地域情報を発信しています。

空き家バンク事業

空き家の有効利用を通し、移住・定住の促進を目的とした空き家バンク制度を実施しています。定住はもちろんのこと、地域居住などで空き家の利用を希望する人に住宅の情報提供を行います。また、市内に空き家をお持ちの方で売りたい、または貸したいという希望をお持ちの方の相談も受け付けています。



子どもたちが遊べるようにブランコを設置

移住・定住情報の発信

八女の魅力をいろいろな角度から紹介するために、実際に移住した人の暮らし方を紹介したパンフレットの発行や動画の制作を行っています。また、移住・定住専用サイト「八女のロマン」を運営し、フェイスブックやインスタグラムなどのSNS等を活用して情報を発信しています。

移住体験事業

移住希望者に、まずは短期的に仕事や地域の魅力を体感していただくために「就業型お試し体験事業」を実施しています。移住希望者の希望にあった事業者とのマッチングを行い、3日～2週間程度体験していただきます。滞在中の宿泊費や移動費（レンタカー）の補助を実施しています。

【問合せ】

八女市移住・定住支援センター
(八女市地域振興課内)

TEL / 0943-12418162

移住定住専用サイト

www.romanticame.com/





九州本島内一の天体望遠鏡

星の文化館

九州最大の天体望遠鏡

先代の65cm天体望遠鏡は、平成3年のオープン以来、26年間、休むことなく九州の天文ファンを魅了してきました。当時は、九州最大の望遠鏡であり、宿泊しながら天体観測を楽しむことができる珍しい施設という触れ込みで、全国の注目を集めました。すぐにその地位は他者の追従を許すことになりました。

今回、新しく設置した大型望遠鏡は、有効口径が100cmとなり、九州本島内の公開天文台では最大の大きさとなりました。この望遠鏡はリッチクレチアン式の反射望遠鏡を採用。さらに、車椅子をご利用されているお客様にも、天体観測を楽しんでいただけるようバリアフリーに配慮した施設となっています。

ファミリー、恋人、宙ガールなど老若男女問わず、滞在していただき、時間の許す限りゆつくり観測をお楽しみいただけます。



星の文化館 (2017年4月リニューアル)

〒834-0201 八女市星野村10828-1

T E L / 0943-52-3000

F A X / 0943-52-3001

営業時間 / 月・土・日・祝 10:30~22:00

水・木・金 13:00~22:00

休館日 / 毎週火曜日

(年末年始、祝日、春・夏休み期間は営業)

入館料 / 大人400円、小学生300円、
幼児100円

プラネタリ / 大人200円、小学生100円
ウム視聴料



星に関する情報展示コーナーを新設



新しく設置した大型望遠鏡



星野の眺望が楽しめるカウンター席

茶の文化館

目指すは、お茶の聖地

八女茶の中でも星野地区は品質の高いお茶が古くから生産されてきました。お茶の魅力や生産者と茶商の誇りを伝え続けてきた場所。それが、茶の文化館の役割でした。

時は流れ、現在、八女茶を取り巻く状況は大きく変わろうとしています。平成27年12月に「八女伝統本玉露」が、お茶の産地として全国で初めて地理的表示(GI)登録認証されたことは、記憶に新しいところです。

今回のリニューアルは、星野地区だけに留まらず、八女全体で生産される八女茶の魅力を発信し、お客様に八女茶のファンになっていただくことです。まだまだ、道半ばですが、将来的には、「お茶の聖地」になることを目指しています。

茶の文化館にお越しいただければ、のどかな風景を眺めながら、ゆつくりと喫茶の時間をお楽しみいただけます。

茶の文化館 (2017年4月リニューアル)

〒834-0201 八女市星野村10816-5

T E L / 0943-52-3003

F A X / 0943-52-3002

開館時間 / 10:00~17:00

(お食事処八女茶寮 11:00~14:30)

休館日 / 毎週火曜日

入館料 / 無料



八女茶を堪能



人気の石臼抹茶挽き体験

八女市の農産品

豊かな自然に恵まれた八女市は優良な農産物の宝庫です。



果物

博多甘熟娘キウイ

太陽の恵みをたっぷり浴びて育ったキウイフルーツ。福岡の人気ブランド。



果物

巨峰

濃厚な甘みが特徴の巨峰。八女の自然の恵みが生んだ自信作。



果物

博多あまおう

博多あまおうは、「あかい、まるい、おおい、うまい」の頭文字から命名された福岡県産ブランド。



花

電照菊

八女電照菊は、全国2位の生産量を誇り全国にむけて出荷しています。



果物

華たちばなみかん

八女産ブランドみかん。ジューシーな甘酸っぱさが詰まったみかんは栄養の宝庫。



果物

福岡のスモモ貴陽

皮は紅色、果肉は淡黄色。糖度が高くみずみずしいスモモ。



野菜

たけのこ

八女地方は全国でも有数の産地です。八女産たけのこはみずみずしい、旬の味わいです。



野菜

博多なす

博多なすの特徴はアクが少なく、まろやかな口当たりで和洋中を問わずどんな料理にも合います。



野菜

とまと

実がずっしりと詰まり、真っ赤に熟したとまとは、ハチによる自然交配で生まれる自信作です。

八女市ふるさと支援寄附

八女市企画財政課 TEL 0943-24-9009

ふるさとチョイス 八女市

検索

八女市へたくさんの方々からいただいたご寄附は、ふるさとを守り、地域づくりや人づくりに活用しています。感謝を伝えるお礼の品として、たくさんの特産品をご準備しております。



くだもの酢セット(選べる3本)

果物を使って醸造された「くだもの酢」。お好みの3本をセットで



GI八女伝統本玉露

八女市の豊かな自然の中で生産された生葉を原料とした玉露



八女の地酒

左から、高橋商店「繁樹大吟醸しずく搾り」、喜多屋「大吟醸特醸喜多屋」、旭松酒造「大吟醸」



玉露とすすり茶わんセット

高級玉露の旨みを楽しむ「すすり茶」。専用の器付き

蜂蜜ギフト さくら

自然の花々から採れる国産はちみつ。「早春みつ」「野山みつ」がセット



あまおう苺アイスマイルク

福岡県産の博多あまおうを贅沢に使用したアイスマイルク



八女組子照明

八女特産の手すき和紙を張り、明かりを灯すと組子が浮き上がる



アクセサリータッセル

八女の伝統工芸の技術を活かしたアクセサリー



出世虎・張り子の虎

八女の手すき和紙や柿渋を使用した職人の手による張り子

※紹介している商品は品切れや変更の場合もございます。また、上記以外の商品も多数ございます。最新情報はインターネットでご確認ください。



寄稿

三菱総合研究所

MONTHLY REVIEW

JULY.2017

Content

- 1 【巻頭言】
未来を見通すために必要なこと
- 2 【人材】
若者の「原子力離れ」を食い止めるために
- 3 【AI】
国家行政にAIを導入するメリット
- 4 【ロボット】
職場の時短ツールとして期待されるRPA

【巻頭言】

未来を見通すために必要なこと

研究理事 亀井 信一

『レッド・オクトーバーを追え』や『いま、そこにある危機』などの軍事、諜報小説で知られるトム・克蘭シーが没して3年が過ぎた。彼の著作を振り返ると、1996年発表の『合衆国崩壊』や2000年の『大戦勃発』、2005年の『国際テロ』など、あたかも今日の世の中を見透かしていたかのような内容が多いことに気づく。

あまり知られていないが、彼は『謀略のバルス』の中で、

卓越した研究者として2人の日本人科学者を紹介している。1人は、中谷宇吉郎博士。寺田寅彦博士の門下生で、北海道帝国大学の教授を務められた物理学者である。世界で初めて人工雪の作製に成功し、「雪は天から送られた手紙である」の言葉でも知られている。

もう1人は、飛澤昌太郎博士。防衛大学の教授だった方で金属学が専門である。結晶成長のパターン形成に関する研究や機能性セラミックスの分野で先導的な研究成果を収めている。トム・克蘭シーは飛澤先生を、飛び切りワット数の高い逸材と評している。

縁があり、飛澤先生が亡くなる直前にその研究レポートを個人的に引き継いだ。この連休を利用し、久しぶりに飛澤先生の墓前に参った。快晴のもと、先生の穏やかな顔が浮かんできた。

先生からいただいた資料をひもとくと、トム・克蘭シーの小説に対する感想が出てきた。そこには先生自身について綿密な調査を行い、研究内容に関しても細部に至るまで正確に引用していることへの敬服の念が記されていた。

シンクタンクの研究員には常に、時代の先を見通す洞察力が求められる。それは綿密な調査に裏打ちされた詳細なデータの積み上げによつて育まれる。飛澤先生の思い出に触れて、この真理を改めてかみしめた。

【人材】

若者の「原子力離れ」を
食い止めるために

原子力安全事業本部 芦田 高規

Point

- 福島事故を受けて若者の「原子力離れ」が加速。
- 原子力は多様な科学技術が融合する横断型事業。
- 地球規模の課題解決に向け継続的な技術者育成が必要。

福島第一原子力発電所の事故によるイメージダウンが、若者の「原子力離れ」を加速させている。原子力関連の学科や企業を志望する学生が減った（※１）ことで、原子力事業に就く若手の層が薄くなりつつある。この結果、現在の担い手で、１９８０～９０年代にプラント建設に携わったシニア世代による技術伝承が難しくなっている。

原子力事業は、放射線に関する特殊な知見だけでなく、機械や化学、金属など多くの分野の専門性も求められる「横断型事業」である。あまり知られていないが、

安全性を最優先する観点から、最新の科学技術をはじめ、質の高い多様な技術が利用されており、専門性が融合した事業領域である。

特に、先端技術を用いるロボット工学や宇宙工学との関わりの深さは注目に値する。例えば、福島第一原発の事故をめぐっては、安全を確保するための除染や原子炉内の状況を把握するための遠隔操作ロボットが投入されているほか、燃料デブリの所在を宇宙線による透視画像で確認する作業が進行している。発電以外にも、建物を壊さずに内部の状況を調べる非破壊検査のほか、がん治療などの医療、穀物や野菜の殺菌・滅菌といった農業の分野で、放射線が活用されてきた。

原子力発電の利活用に関しては賛否が分かれるところだが、廃炉ひとつをとっても数十年単位の事業になり、安全確保に最大限配慮しながら着実に進める必要がある。ロシアやフランス、韓国などは原子力事業を担う人材を、国を挙げて戦略的に育成している。脱原子力政策をとるドイツも、廃炉作業や廃棄物処分を安全に行うなどの目的で、継続的に技術者を育成し続けている。

地球規模の課題解決には世界全体の英知を集める必要がある。日本の原子力産業がこうした流れに加わり一定の貢献をするには、未来を担える優秀な若手の確保が不可欠だ。技術的なすそ野の広さやほかの分野の発展にも役立っている事実を周知すれば、彼らも「やりがい」を感じ、原子力事業に対する敬遠の度合いを薄めるのではないだろうか。

（※１）文部科学省「原子力人材育成作業部会 中間とりまとめ」（２０１６年８月）。

[表] 原子力と他分野技術との関わり方の例

分 野	キーワード	活用例
ロボット工学	ロボット、遠隔操作	福島第一原子力発電所の除染、事故状況調査
機械工学	経年劣化対策	プラント機器の検査・補修
化学工学	質量分析	核種分析、同位体分離
宇宙工学	宇宙線	ミュオンを活用した原子炉内の状況把握
光科学	可視化、耐放射線性	ガンマ線撮像用コンプトンカメラ、耐放射線性イメージセンサー
情報工学	ビッグデータ	プラント設備の故障予兆監視システム

出所：三菱総合研究所

【A I】

国家行政に AIを導入するメリット

社会ICT事業本部 清水 充宏

Point

- AIは大量処理だけでなく「判断」ができるまでに進化しつつある。
- 迅速かつ客観的なAIの判断はさまざまな業務に適応が可能。
- 行政サービスにおける審査業務にもAI活用を。

人工知能（AI）の能力は膨大な量のデータを「処理」するだけでなく、「分析」し、「学習」し、「予測」し、「判断」するレベルに達しつつある。実際に金融機関の一部では、与信審査業務にAIを導入する例も見られ始めている。例えば、顧客の年齢や性別、過去の入出金明細などのデータをもとに、AIを使ってその顧客にどの程度までローンを貸し付けることが可能か判断する。人間ではなくAIに任せる利点としては迅速だけでなく、恣意性を排した判断が可能で、リスクも計測しやすいことが挙げられる。

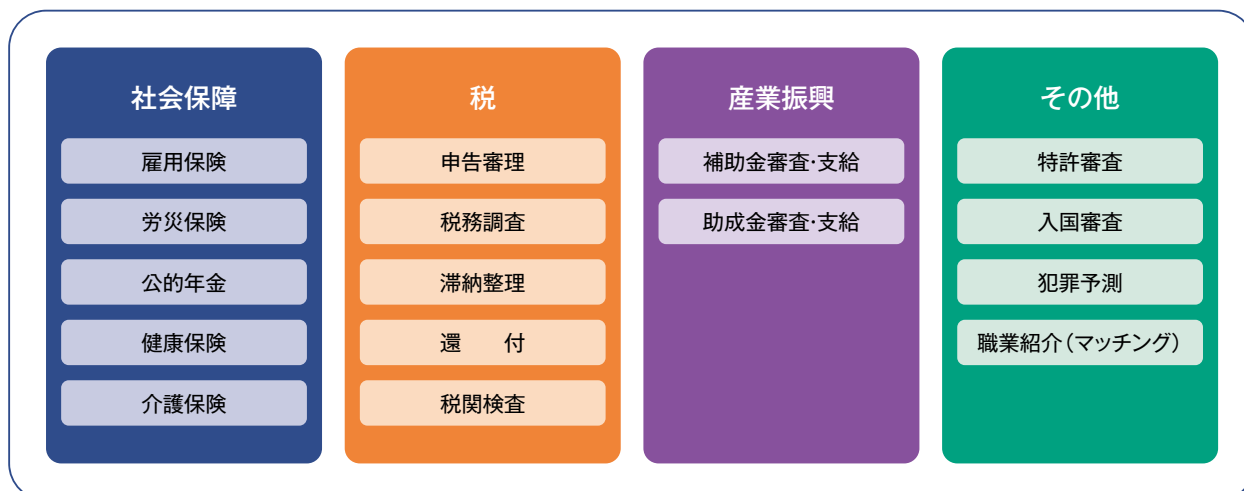
AIは、業務の効率化や高度化に加えて、新たなサービス開発やビジネスモデルの革新にも本格的に活用されており、政府も2016年4月の「人工知能技術戦略会議」創設などを通じて、この流れを後押ししている。

では、行政サービスへの活用はどうか。例えば、税務署や年金事務所での徴収・審査の一部をAIに任せてはどうか。毎年、確定申告の時期には税務署に長蛇の列ができる。申告する側も大変だが、職員も対応や書類のチェックに忙殺される。繁忙期には申告手続きを終えてから審査を経て還付金が振り込まれるまで、数週間かかる場合もある。こうした審査にAIの能力を活かせれば、社会的な負荷やコストを軽減できる。

電子政府を目指して情報システム化を推進してきたため、行政側には膨大な情報が蓄積されており、AI活用に必要なデータをそろえることが可能になりつつある。また、国家公務員の定員数がこの10年で17%減少する中、退職するベテランのノウハウが継承されにくいとの懸念も強い。この対策として、人を支援するAI活用によるメリットが期待される。実際、経済産業省が国会答弁をAIに下書きさせる実証実験を開始している。

さらに、民間で成功した事例を参考にして、AIと親和性の高い業務を選んで導入すれば、行政サービスの効率化を大きく前進させられるはずだ。また、日々寄せられる膨大な補助金・助成金申請の審査にAIを活用できれば、行政サービスを利用する産業側も、手続きや審査が円滑になり、生産性向上や評価最適化などの好ましい効果が得られるだろう。もちろん最終判断は人が行うことには変わりはない。

〔図〕AIと親和性が高い国家行政の制度・業務例



出所：三菱総合研究所

【ロボット】

職場の時短ツールとして
期待されるRPA

経営コンサルティング事業本部 佐々木 康浩

Point

- 「働き方改革」の機運の高まりを契機に時短を促すRPAが普及期へ。
- 部署固有のオフィスワークで効果が実感しやすい。
- 今後はAIと連携してさらなる自動化を実現。

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、インターネットからの情報収集や表計算ソフトでの情報整理といった定型作業をパソコン上で自動化する「ソフトウェアロボット」を指す。企業が全社情報システムを導入する際に、カバーしきれなかった部署固有のオフィスワークを対象として、その業務プロセスを効率化するツールに位置づけられる。人間とロボットの関わり方の違いから、RPAにはフロントオフィス型

とバックオフィス型がある（表）。

わが国でも大手金融機関がパソコンを使った業務に本格利用を開始するなど2015年ごろから導入が増えており、政府の長時間労働を是正する動きの中、時短ツールとしての評価と注目が高まりつつある。

RPAの導入メリットの一つは「即効性」である。RPAは部署主導のもとで短期の導入が可能であり、システムのように入念に導入の準備をする必要はない。さらに、部署で働く従業員の作業に直結するとあつて、時短の効果も実感しやすい。

もう一つは「標準化」の効果である。RPAはサーバーとのデータ連携を含めた作業のルールを利用部署が主導して登録でき、現場の実態に沿った指針を設定しやすい。仮に業務経験の浅い初心者オペレーションに迷ったとしても、運用ルールから逸脱しないようRPAが補助する役割も見込まれる。

マネジメント層のルーティンワークを短縮した事例もある。業務受託サービス大手のトランスコスモスは、コールセンターオペレーターの勤怠管理向けにRPAを導入した。毎朝部下の勤怠を業務システムで逐一確認し、前日の残業時間を表計算シートに人手で集約する管理業務が即座に処理できるようになった。

今後は人工知能（AI）技術を活用して、非定型業務の自動化や例外処理への対応、自然言語処理などより広範な作業をカバーできるようになると想定される。その際でも、期待する効果を得るためには、適用業務の適材適所を見極めて作業や運用のルールを見直すといった現場起点の配慮は不可欠だ。

[表] RPAの種類

	フロントオフィス型ロボット	バックオフィス型ロボット
定義	人間の作業と並んで自動的に作業を補助	人間の作業と無関係に無人で作業
特長	企画など戦略的な仕事をしている部署でも定型的な業務があるため、RPAによって各人の数%から数十%分の業務を少しずつ代行することが可能	経理や人事などシェアードサービス向きな部署での流れ作業的な定型業務は、RPAによって数人から数十人分の業務をまとめて置き換えることが可能
一般的な 適応業務	少量の繰り返し作業。 人間の判断を適宜必要とする構造化されていない業務	大量の繰り返し作業。 人間の判断を必要としない構造化された業務

出所：三菱総合研究所



貸金庫

新規ご契約キャンペーン

期間 平成29年4月3日(月)～9月29日(金)

キャンペーン期間中、貸金庫を新規でご契約いただくと

初年度(ご契約月から平成30年3月末まで)の
貸金庫利用手数料が **無料!**

キャンペーン終了後の利用手数料は貸金庫の種類や大きさによって異なります。
手数料の初回引落日は平成30年4月10日となります。

・・・ 貸金庫のポイント ・・・



安心のセキュリティ

- 貸金庫室は、思いもかけないトラブルから、あなたの大切な財産をお守りいたします。
- 預金証書・通帳・貴金属・重要書類などの貴重品を安心して預けください。



出し入れは自由です。

- 営業時間中なら何回でも自由に出し入れすることができます。
- あらかじめ代理人をお届けいただければ、代理人の方もご利用になれます。



プライバシーや秘密が守られます。

プライバシーを守り、安心してご利用いただけるよう配慮しています。



「マイバンク」三ツ星以上の方は利用手数料15%割引。

ポイントくらぶ「マイバンク」三ツ星以上の方は貸金庫の利用手数料が15%割引になります。

ポイントくらぶ「マイバンク」は、お客さまのFPG各銀行とのお取引内容をポイントに換算して、その合計ポイントによって、各種手数料の割引などの特典を提供するサービスです。ポイントくらぶ「マイバンク」は、お申込制です。入会金・年会費等は一切不要です。ぜひお申込みください。

■貸金庫のサービス内容

ご利用時間や貸金庫種類は、各銀行・支店ごとに異なります。
詳しくは窓口までお問い合わせください。

■お申込み手続き

- ご来店の際には通帳、お届け印、本人確認資料(運転免許証など)をお持ちください。
- お申込みには各銀行所定のお手続きが必要になります。
- 空き状況等により、ご希望にそえない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■保管いただけるもの

重要書類	預金通帳、各種契約書、権利証、公社債券など
貴重品類	貴金属、宝石など
その他	記念品、アルバムなど

※危険物や変質のおそれのある物品は保管できません。あらかじめご了承ください。

詳しくは窓口までお問い合わせください。

ゆうと



FILE No.37

九州の「地域ブランド」をご紹介します。



つるっとした喉越し

博多 おき

おきゅうとは、江戸時代から福岡市博多地区で食べられ博多の朝ごはんを代表するおかずとしてよく知られています。日本海側を中心に採れる海藻のエダノリと固める作用をもつ海藻のイサスをブレンドして作る海藻の加工食品です。

材料を煮溶かし、裏ごしして小判型に薄く伸ばして冷まして固まったら出来上がりです。よく冷えたおきゅうとを短冊型に切り、シユウガ、木酢、胡麻などをのせ、醤油やポン酢をかけて食べればもっちりとした食感とつるっとした喉越しで口の中に磯の香が広がります。

in 九州

今月の注目データ

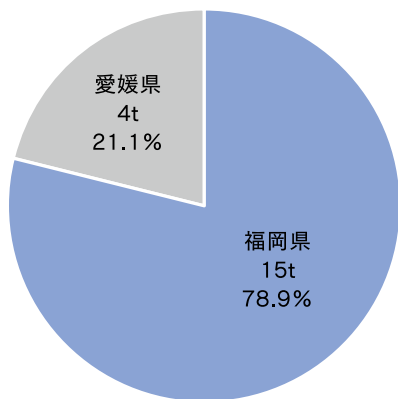
今月は「木ろうの生産量」と
「スイカの収穫量」です。

木ろうの生産量



「和ろうそく」の原料となる、木ろう（※）の生産量を都道府県別に見てみると、そのほとんど（78.9%）が福岡県で生産されています。木ろうは、江戸時代から藩の財政源として九州各地と愛媛県を中心に盛んに生産され、明治40年代にピークを迎えましたが、その後は、照明の主流が和ろうそくから価格の安い石油系のパラフィンロウを原料とする西洋ろうそくに取って替わられ、さらに電気の普及とともにろうそく自体の需要も減っていきました。最盛期は福岡県の柳川、みやま両市だけでも50軒あった木ろうの製造所が、今では日本でもわずか3軒となっています。

木ろうの生産量



（出所：林野庁「平成27年特用林産基礎資料」を基にFFGビジネスコンサルティング作成）

（※）木ろう：ハゼ（ウルシ科の落葉高木）の実から採れる日本特産の天然植物系ロウ

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA



スイカの収穫量

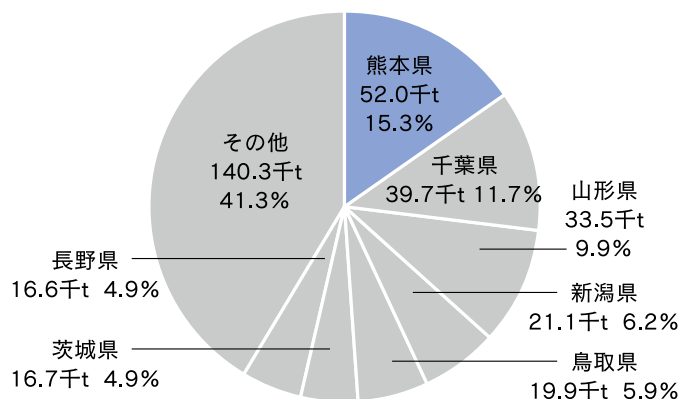


日本の夏の風物詩と言えはスイカです。スイカは水分が90%以上を占め、糖分やミネラルを多く含んでおり、熱中症予防の点からも、夏にぴったりの食べ物です。そんなスイカの収穫量を都道府県別に見てみると、熊本県が第1位（15.3%）となっています。

熊本県でも特に熊本市北区の植木地区が、日本一を誇るスイカの名産地となっている理由は、その地形と栽培時期、そして生産者の努力にあります。スイカは成長期における昼夜の温度差が大きいほど、糖度が高くなる傾向があります。スイカ栽培が行われる植木地区

の地形は盆地状になっており、昼は暖かく夜は冷え込むことから自然と温度差が大きくなります。そして、5月に出荷のピークを迎える植木地区のスイカは、ビニールハウスで栽培し加温することで日中の温度を上昇させ、夜は肌寒い外気に触れさせることで昼夜の温度差を拡大させ、スイカの糖度を上げています。さらに植木地区のスイカ生産者は、日光の当て方の研究や栽培土の改良などを毎年行っており、前年よりも高い糖度のスイカを生産するべくたゆまぬ努力を続けています。

すいかの収穫量



(出所:農林水産省統計「平成27年産野菜生産出荷統計」を基にFFGビジネスコンサルティング作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直している

福岡県の景気は、生産活動において持ち直しの動きが続いているほか、個人消費についても底堅い状況にある等、総じてみると持ち直しています。

公共工事は5ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いており、個人消費についても、主力の衣料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設も3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

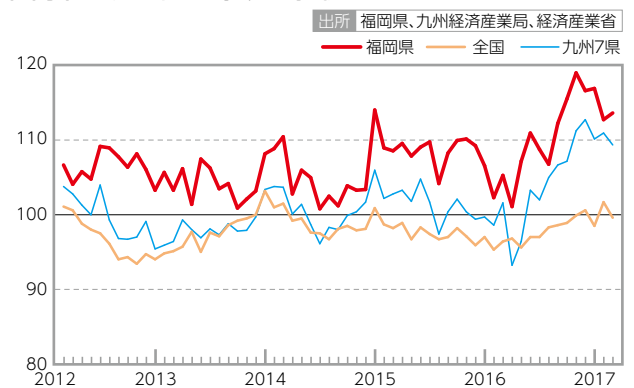
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は113.7と前月比0.8%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車の生産が減少した輸送機械は低下したものの、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.2%増の515億円となりました。

気温が上昇した影響等により春物衣料に動きがみられ、主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品も前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





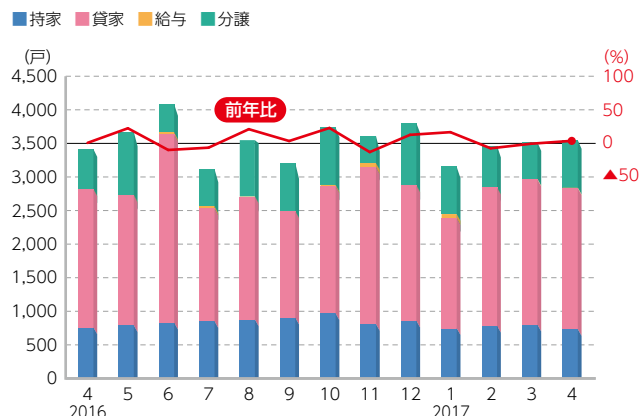
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比3.9%増の3,606戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



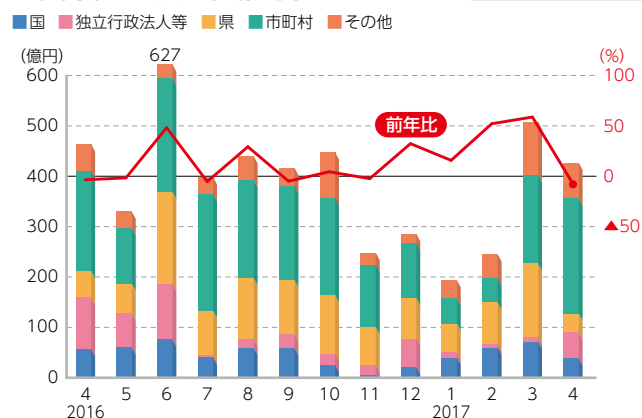
4.公共工事 | 5ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.5%増の486件、金額が同7.9%減の430億円となりました。

発注者別では、市庁舎建設工事の大型案件があった「市町村」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「県」が前年を下回り、全体でも5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比22.2%減の21件、負債総額は約72億円となりました。

太陽光パネル製造販売業で52億円の大型倒産が発生したほか、建設業で5億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復している

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復しています。

生産活動は、電気機械が上昇する等、回復の動きが続いており、個人消費についても、昨年4月の熊本地震による休業や買い控えの反動等により、全ての品目が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。また、住宅建設及び公共工事も復興需要等を背景に前年を上回る状況が続いています。

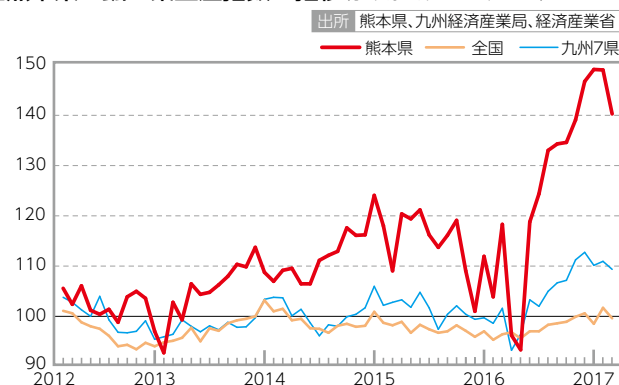
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 回復の動きが続いている

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は140.5と前月比5.9%低下しました。

主要業種では、集積回路の生産が減少した電子部品・デバイス等が低下したものの、電気機械が上昇する等、生産全体としては引き続き高い水準を維持しており、回復の動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

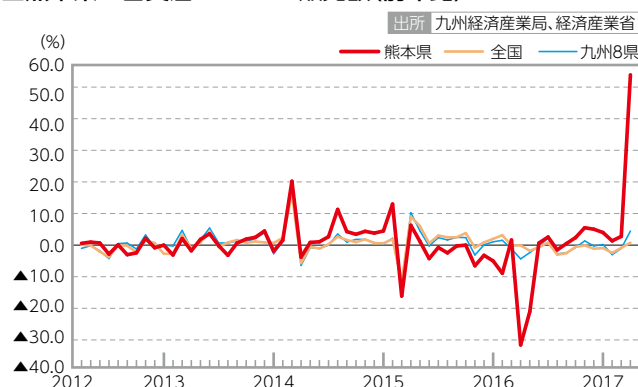


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比56.7%増の127億円となりました。

昨年4月の熊本地震による休業や買い控えの反動等により、全ての品目が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



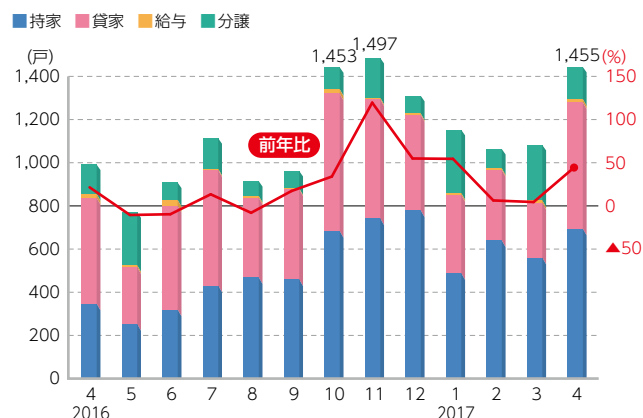
3.住宅建設 | 8ヵ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比45.6%増の1,455戸となりました。

「給与」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



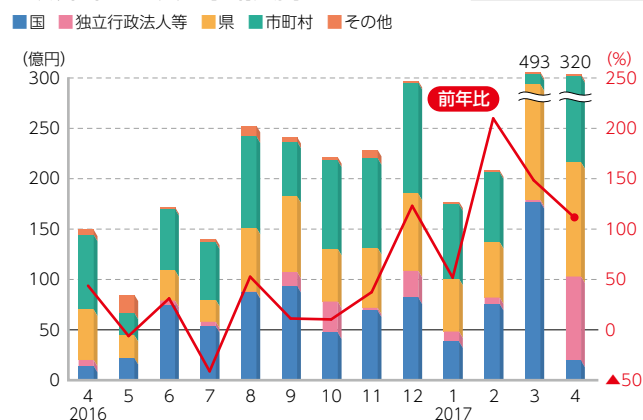
4.公共工事 | 9ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比75.6%増の453件、金額が同112.5%増の320億円となりました。

震災復旧工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、警察庁舎新築工事の大型案件があった「県」等が前年を大きく上回り、全体でも9ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



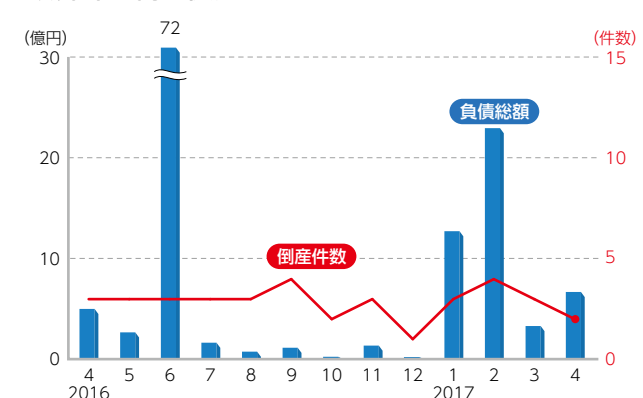
5.企業倒産 | 4ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同33.5%増の約7億円となりました。

不動産賃貸業で約7億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設は3ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事も前年を上回る状況が続いています。

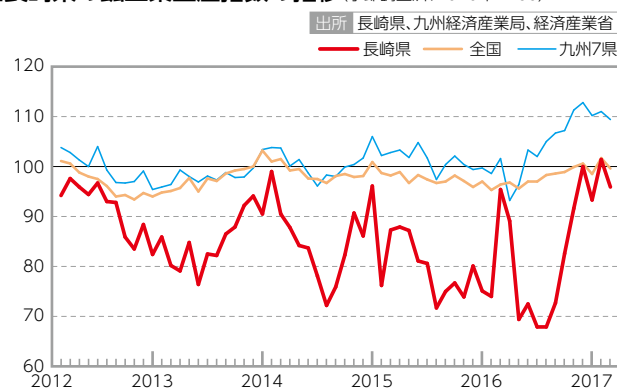
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.9と前月比5.4%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下したものの、修繕船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

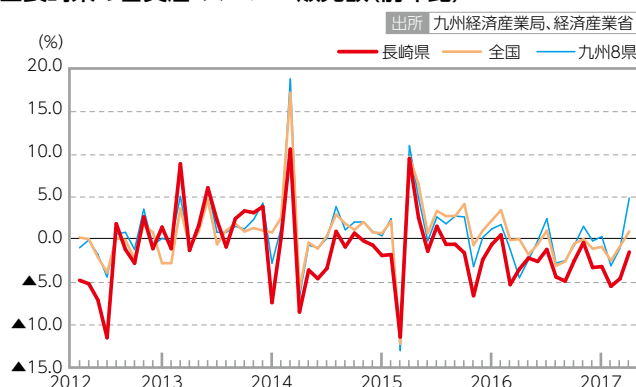


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.6%減の83億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





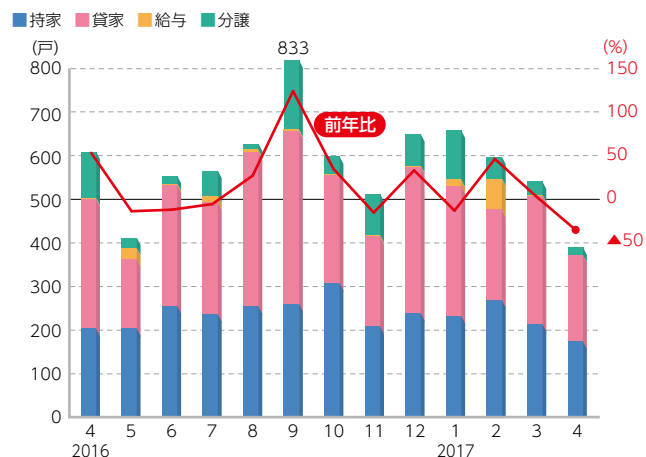
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比36.0%減の396戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



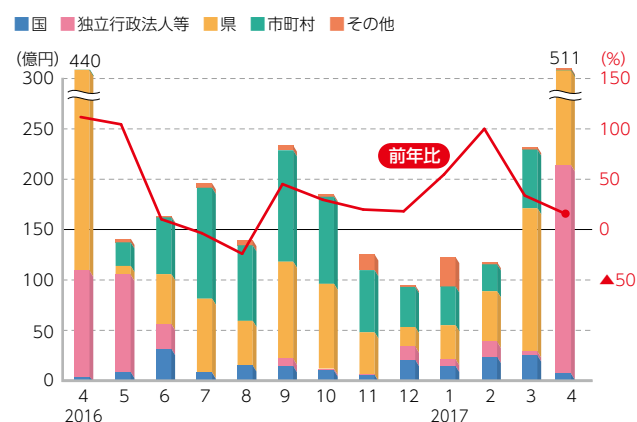
4.公共工事 | 8ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比36.9%増の297件、金額が同16.1%増の511億円となりました。

発注者別では、九州新幹線トンネル工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、水道施設工事があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の2件、負債総額は約11億円となりました。

ホテルで11億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、生産活動に弱さがみられるものの、個人消費は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

公共工事が4ヵ月ぶりに前年を下回ったほか、生産活動についても化学が低下する等、弱含みの兆しがみられます。一方で、個人消費は主力の衣料品や飲食料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設についても2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

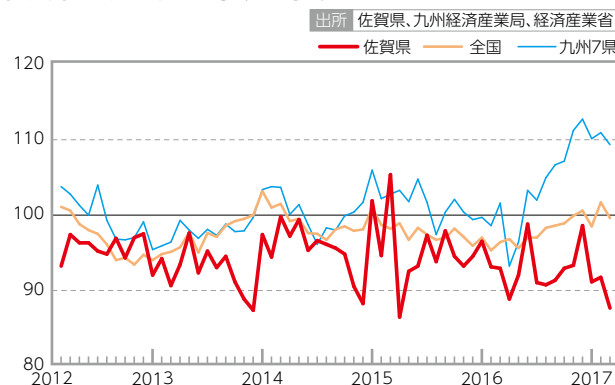
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.6と前月比4.5%低下しました。

主要業種では、一般機械が上昇したものの、化学が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

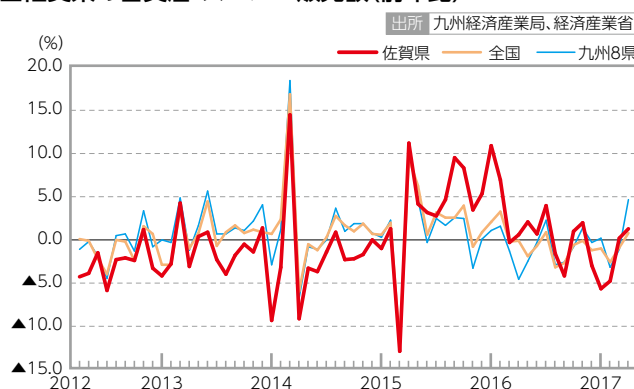


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%増の51億円となりました。

気温が上昇した影響等により春物衣料に動きがみられ、主力の衣料品が好調だった他、飲食料品も前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





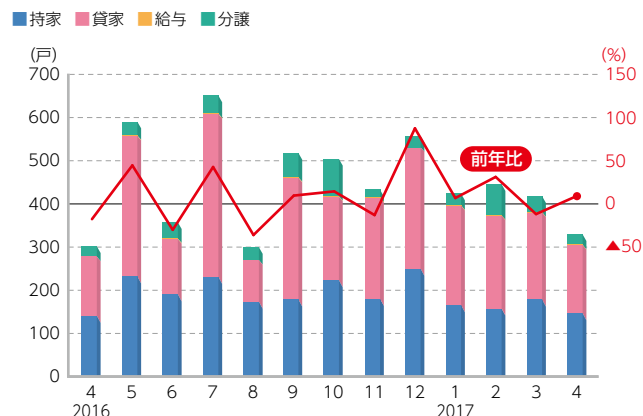
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比9.2%増の332戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



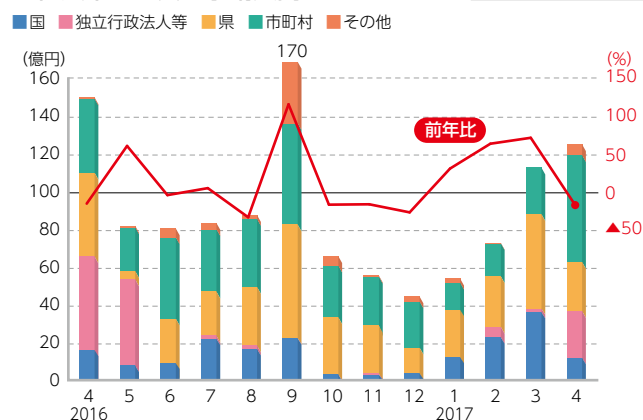
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.2%増の161件、金額が同16.6%減の126億円となりました。

発注者別では、学校校舎改築工事があった「市町村」等が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「県」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



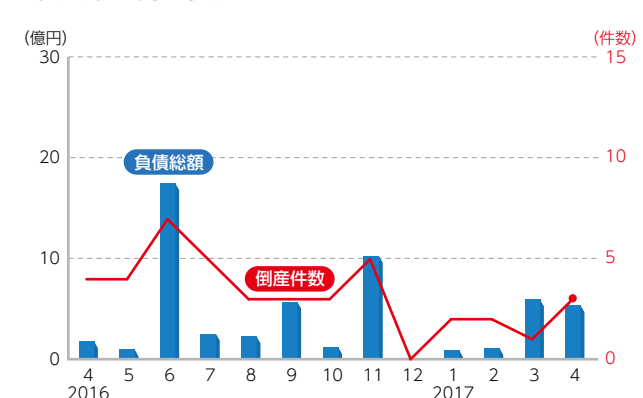
5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は約5億円となりました。

ホテルで4億円の倒産が発生したほか、運送業で約1億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

生産活動はプラスチックが増産となった化学・石油製品が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、主力の衣料品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、住宅建設が2ヵ月ぶりに前年を上回ったほか、公共工事についても前年を上回る状況が続いています。

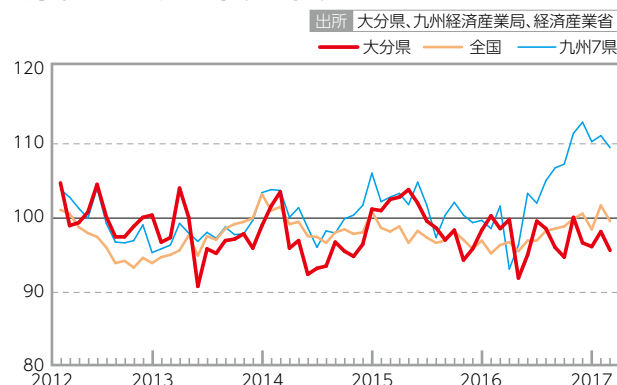
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.7と前月比2.5%低下しました。

主要業種では、半導体の生産が減少した電子部品・デバイスが低下したものの、プラスチックが増産となった化学・石油製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

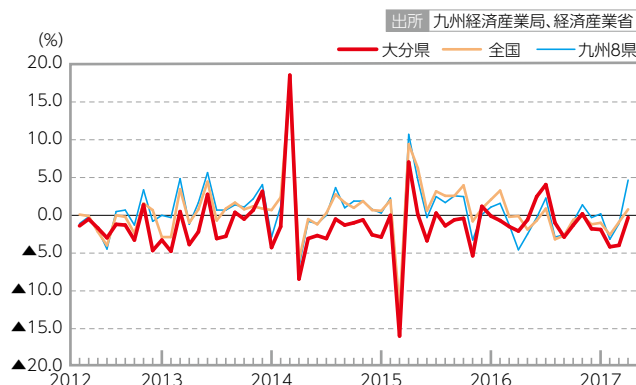


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.3%減の82億円となりました。

飲食料品は前年を下回ったものの、気温が上昇した影響等により春物衣料に動きがみられ、主力の衣料品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





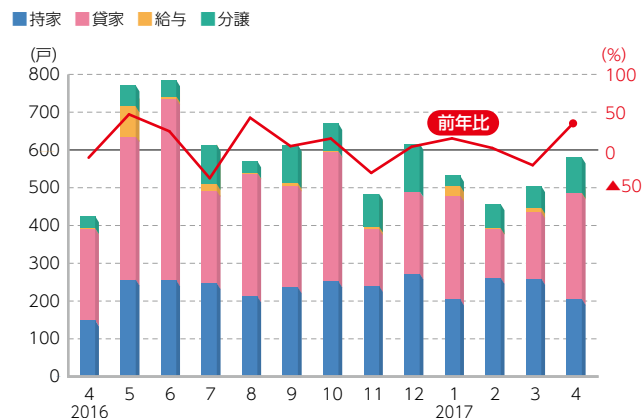
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比36.7%増の585戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



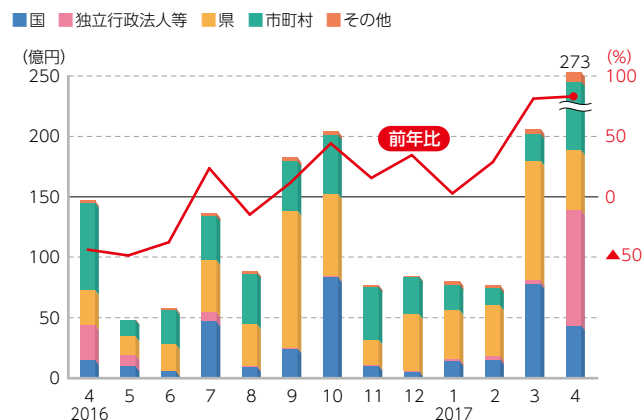
4.公共工事 | 8ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.3%増の227件、金額が同84.5%増の273億円となりました。

発注者別では、震災復旧工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、土地造成工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を大きく上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



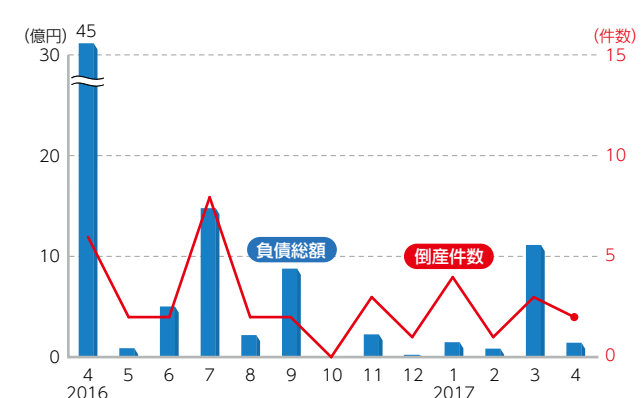
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比66.7%減の2件、負債総額は同96.8%減の約1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移している

宮崎県の景気は、生産活動に弱さがみられるものの、個人消費は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

生産活動は電子部品・デバイスが低下する等、弱含みの兆しがみられるほか、住宅建設についても2ヵ月連続で前年を下回りました。一方で、個人消費は化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しており、公共工事についても2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

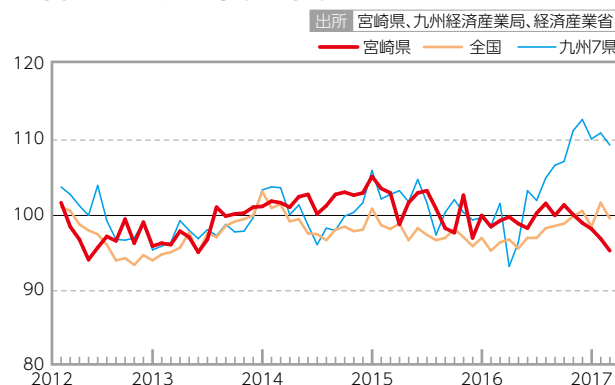
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.3と前月比1.7%低下しました。

主要業種では、食料品が上昇したものの、電子部品・デバイスが低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

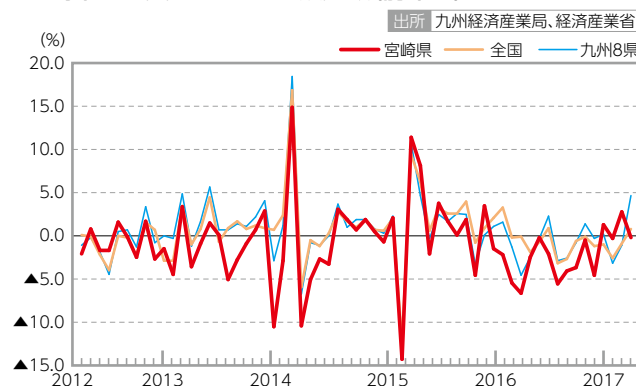


2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.2%減の55億円となりました。

主力の衣料品や飲食料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





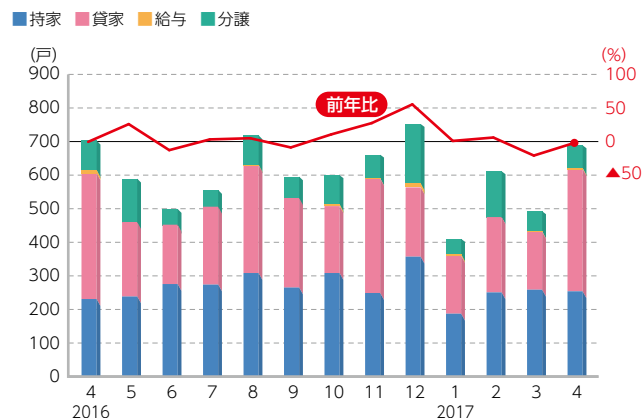
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.0%減の694戸となりました。

「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「給与」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



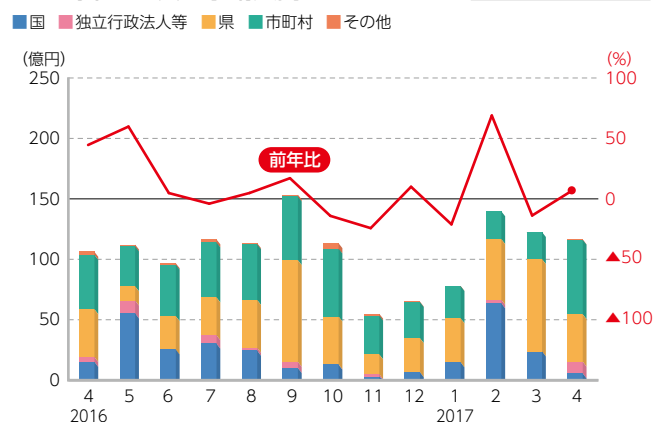
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比17.6%減の192件、金額が同9.7%増の117億円となりました。

発注者別では、高速道路工事があった「独立行政法人等」と、複合施設改修工事があった「市町村」が前年を上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



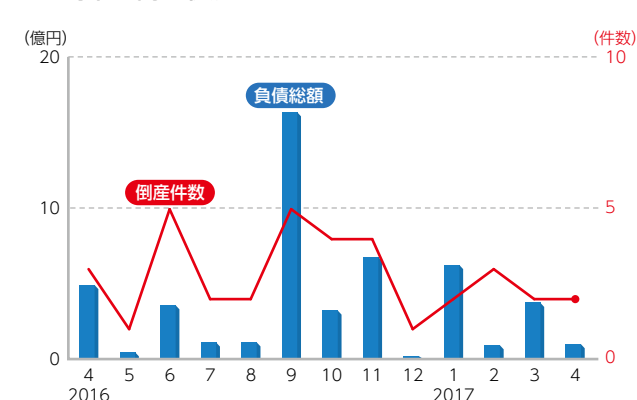
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同79.9%減の1億円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設は前年を下回る状況が続いているものの、生産活動ははん用・生産用機械が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事も前年を上回る状況が続いています。

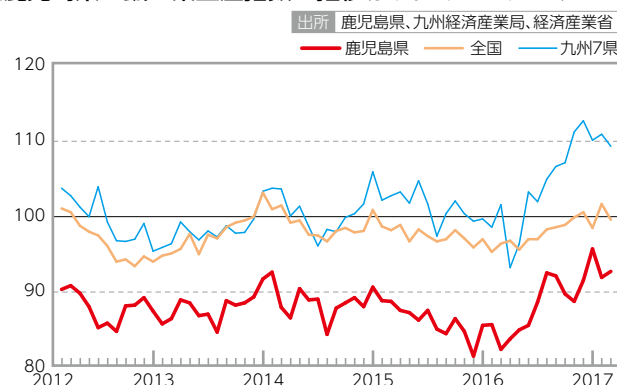
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.7と前月比0.9%上昇しました。

主要業種では、電子部品・デバイスが低下したものの、はん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

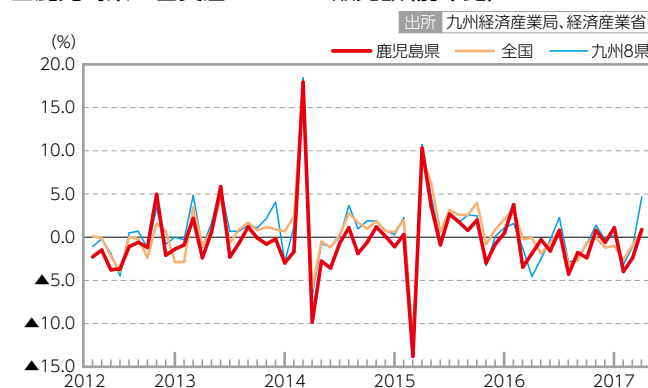


2. 個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.9%増の121億円となりました。

主力の衣料品が好調だった他、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





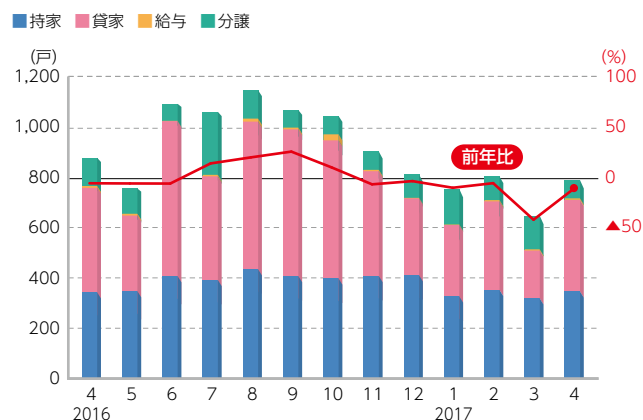
3.住宅建設 | 6ヵ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.2%減の793戸となりました。

「持家」を除く全ての項目で前年を下回り、全体でも6ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



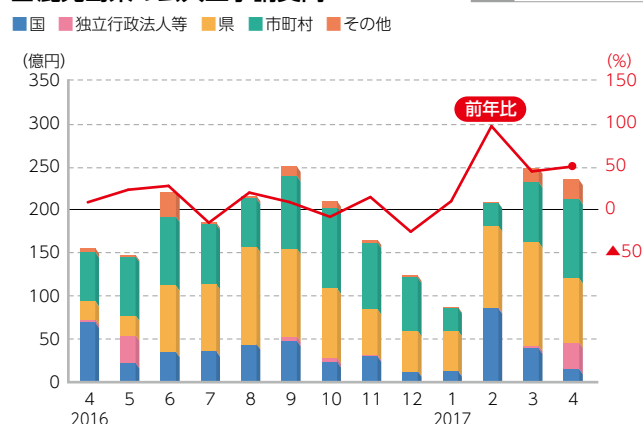
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比71.8%増の390件、金額が同51.1%増の238億円となりました。

発注者別では、大学病院新築工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、空港ビル改築工事の大型案件があった「その他公共的団体」等が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



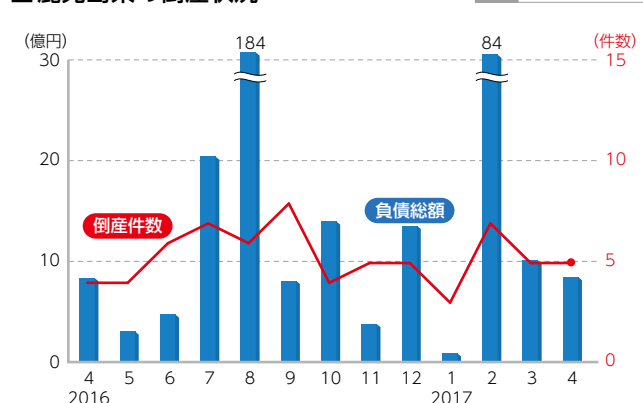
5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%増の5件、負債総額は同1.2%増の約9億円となりました。

養殖業で約6億円の倒産が発生したほか、建設業及び電気工事業でそれぞれ約1億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



全国 経済指標

項目 年月	鉱工業指数(2010年=100)						機械受注金額 (船舶・電力を 除く民需)	貿易			公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)								
2014年	99.0	2.1	98.2	1.3	109.5	2.0	4.0	4.8	5.7	147,940	4.6	100,195	5.4	
2015年	97.8	▲1.2	96.9	▲1.3	113.0	3.2	4.8	3.5	▲8.7	139,365	▲5.8	103,454	3.3	
2016年	97.6	▲0.2	96.2	▲0.7	110.9	▲1.9	1.1	▲7.4	▲15.9	142,743	2.4	106,780	3.2	
2016.3	96.4	0.4	95.1	▲0.4	114.2	1.1	1.4	▲6.8	▲14.9	13,395	5.0	8,511	28.8	
4	96.8	▲3.2	95.4	▲3.1	112.6	▲0.5	▲6.4	▲10.1	▲23.3	20,301	10.6	8,294	▲35.2	
5	95.6	▲0.6	94.7	▲0.9	112.8	0.3	▲2.2	▲11.3	▲13.9	11,453	1.4	9,988	12.8	
6	97.0	▲1.6	95.7	▲1.6	112.4	▲0.5	7.1	▲7.4	▲18.9	15,278	▲1.8	10,295	16.0	
7	97.0	▲4.2	96.0	▲3.8	110.5	▲2.4	5.6	▲14.0	▲24.7	13,618	▲6.9	7,318	▲25.8	
8	98.3	4.5	96.2	1.8	110.5	▲2.1	▲5.9	▲9.6	▲17.2	12,473	12.0	10,108	23.1	
9	98.6	1.5	96.8	0.8	109.9	▲2.7	0.3	▲6.9	▲16.2	14,716	18.1	9,400	24.6	
10	98.9	▲1.2	97.9	▲1.8	108.5	▲3.6	3.4	▲10.3	▲16.5	11,273	▲10.0	8,831	▲0.5	
11	99.9	4.4	98.9	5.0	106.6	▲5.5	▲2.8	▲0.4	▲8.8	8,220	▲5.7	8,211	6.0	
12	100.6	3.1	98.9	2.4	107.3	▲5.3	2.1	5.4	▲2.6	8,514	5.3	9,727	22.0	
2017.1	98.5	3.7	97.8	4.4	107.4	▲5.0	▲3.2	1.3	8.5	6,997	7.1	10,194	34.6	
2	101.7	4.7	99.2	3.9	108.1	▲4.1	1.5	11.3	1.3	7,693	10.4	10,575	24.0	
3	99.8	3.5	98.4	3.5	109.7	▲4.0	1.4	12.0	15.9	14,859	10.9	7,341	▲13.7	
4	103.8	5.7	101.1	4.9	111.3	▲1.1	▲3.1	7.5	15.4	20,646	1.7	9,837	18.6	
出所	経済産業省						内閣府	財務省		西日本建設業保証		国土交通省		

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2015年=100)		消費者物価指数 (2015年=100)		百貨店・スーパー 販売額		乗用車 乗用車新規登録台数	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	億円	前年比(%)	台	前年比(%)
	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)								
2014年	892,261	▲9.0	▲19.6	1.7	▲10.0	102.4	0.5	99.2	▲0.8	194,298	1.7	2,854,078	▲0.4
2015年	909,299	1.9	▲0.7	4.6	1.6	100.0	▲2.3	100.0	0.8	196,732	1.3	2,697,940	▲5.5
2016年	967,705	6.4	3.1	10.5	4.1	96.5	▲3.5	99.9	▲0.1	195,944	▲0.4	2,795,314	3.6
2016.3	75,744	8.4	4.3	1.1	26.0	96.8	▲4.0	99.7	0.0	16,463	▲0.2	346,357	▲2.6
4	82,398	9.0	1.2	16.0	9.0	96.4	▲4.4	99.9	▲0.3	15,460	▲0.1	184,247	8.3
5	78,728	9.8	4.3	15.0	7.9	96.4	▲4.6	100.0	▲0.5	15,982	▲1.9	193,463	7.3
6	85,953	▲2.5	1.1	3.7	▲15.2	96.4	▲4.5	99.9	▲0.4	15,679	▲0.7	247,878	3.6
7	85,208	8.9	6.0	11.1	9.1	96.3	▲4.2	99.6	▲0.4	17,214	0.9	243,833	▲0.5
8	82,242	2.5	4.3	9.9	▲12.7	96.0	▲3.8	99.7	▲0.5	15,545	▲3.2	190,428	5.5
9	85,622	10.0	1.4	12.6	17.0	96.1	▲3.3	99.8	▲0.5	14,710	▲2.7	269,315	3.9
10	87,707	13.7	4.9	22.0	11.7	96.0	▲2.7	100.4	0.1	15,970	▲0.6	208,979	1.5
11	85,051	6.7	2.7	15.3	▲1.8	96.4	▲2.3	100.4	0.5	16,479	▲0.1	235,129	16.4
12	78,406	3.9	6.5	2.2	4.6	97.1	▲1.2	100.1	0.3	20,676	▲1.2	227,230	11.6
2017.1	76,491	12.8	▲0.2	12.0	27.3	97.7	0.5	100.0	0.4	16,743	▲1.0	228,673	9.2
2	70,912	▲2.6	1.6	6.8	▲17.9	98.0	1.1	99.8	0.3	14,493	▲2.6	273,442	14.4
3	75,887	0.2	▲3.6	11.0	▲10.8	98.2	1.4	99.9	0.2	16,312	▲0.9	397,547	14.8
4	83,979	1.9	0.8	1.9	2.9	98.4	2.1	100.3	0.4	15,583	0.8	195,636	6.2
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年比(%)	百億円	前年比(%)	百億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	%						
2014 年	1,733,988	2.6	423,541	▲0.6	318,755	▲0.1	1.09	3.6	9,731	▲10.4	65,833	3.1	44,704	3.2
2015 年	1,511,404	▲12.8	427,270	0.9	315,379	▲1.1	1.20	3.4	8,922	▲8.3	67,577	2.7	46,130	3.2
2016 年	1,344,967	▲11.0	428,697	0.3	309,591	▲1.8	1.36	3.1	8,446	▲5.3	73,024	8.1	47,396	2.7
2016. 3	185,674	▲19.4	369,306	1.3	334,609	▲4.9	1.30	3.2	746	▲13.2	70,151	4.1	46,456	2.8
4	84,688	▲9.1	388,135	0.9	338,001	1.1	1.34	3.2	695	▲7.1	71,170	6.0	46,038	2.9
5	81,614	▲17.3	313,379	▲4.4	306,721	▲3.3	1.36	3.2	671	▲19.5	71,281	5.5	46,010	2.7
6	96,023	▲23.4	589,676	1.4	276,602	▲5.6	1.37	3.1	763	▲7.4	71,240	5.4	46,080	2.4
7	103,947	▲5.7	468,137	▲0.8	302,422	▲3.9	1.37	3.0	712	▲9.5	70,847	5.6	46,126	2.3
8	88,625	▲2.1	391,693	0.1	301,442	▲5.0	1.37	3.1	726	14.9	70,998	5.9	46,133	2.2
9	127,192	▲9.1	347,541	2.8	296,387	▲0.8	1.38	3.0	649	▲3.6	71,478	6.0	46,592	2.2
10	104,869	▲3.4	404,859	▲0.0	305,683	▲1.3	1.40	3.0	683	▲8.0	71,822	7.1	46,463	2.4
11	105,962	▲4.6	351,894	2.0	294,019	▲0.3	1.41	3.1	693	▲2.5	72,524	7.1	46,812	2.6
12	105,058	1.5	769,634	2.4	349,214	2.6	1.43	3.1	710	1.6	73,024	8.1	47,396	2.7
2017. 1	114,324	▲3.6	360,495	1.3	307,150	▲1.7	1.43	3.0	605	▲10.4	73,234	8.6	47,294	2.8
2	139,456	▲2.3	402,541	2.1	298,092	0.1	1.43	2.8	688	▲4.8	73,246	7.0	47,352	3.2
3	185,723	0.0	363,023	▲1.7	337,075	0.7	1.45	2.8	786	5.4	74,529	6.2	47,849	3.0
4	101,410	19.7	384,297	▲1.0	329,949	▲2.4	1.48	2.8	680	▲2.2	75,185	5.6	47,573	3.3
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。百貨店・スーパー販売額は、調査対象事業所見直し(2010年7月、2013年7月及び2015年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間の実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		鉄鋼		食料品・たばこ		はん用・生産用機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2014年	104.6	0.7	91.0	2.1	89.5	▲7.2	113.0	12.0	115.9	▲3.1	105.9	0.8	138.2	▲2.3
2015年	109.2	4.4	92.1	1.2	92.3	3.1	116.8	3.4	126.4	9.0	110.1	4.0	147.0	6.4
2016年	109.8	0.5	90.0	▲2.3	92.2	▲0.1	117.6	0.7	130.2	3.0	111.5	1.3	137.6	▲6.4
2016.3	105.3	▲0.4	86.2	▲7.8	93.8	7.9	106.2	▲4.9	115.3	▲1.2	106.2	▲0.2	153.4	7.3
4	101.1	▲9.2	89.1	▲3.8	94.6	2.8	116.9	▲6.5	101.2	▲22.3	101.7	▲7.9	139.4	▲6.2
5	107.2	0.9	86.1	▲6.6	90.9	1.5	120.0	6.3	122.5	0.8	109.7	0.6	137.2	▲7.3
6	111.0	1.7	85.3	▲7.2	92.0	0.7	114.5	▲1.9	135.8	8.8	113.1	2.8	134.6	▲10.8
7	108.8	▲4.0	93.7	1.1	92.7	▲4.1	115.1	▲10.4	135.7	▲1.4	108.5	▲4.7	139.1	▲11.0
8	106.8	6.9	93.2	0.3	89.5	1.7	112.0	2.1	118.3	16.5	112.3	10.3	129.9	▲17.2
9	112.3	2.6	86.3	▲5.5	90.3	▲4.9	142.0	19.1	129.4	3.6	113.2	3.7	134.6	▲9.7
10	115.6	3.4	92.2	3.8	92.7	▲3.4	119.4	1.7	150.5	14.3	118.4	4.1	137.4	▲5.8
11	119.1	9.8	94.2	6.6	89.1	▲2.2	114.0	▲1.0	160.1	28.6	122.1	11.3	131.8	▲8.3
12	116.7	5.1	93.7	0.2	90.9	▲4.2	126.4	8.6	148.7	10.6	117.9	4.5	137.3	▲3.3
2017.1	117.0	11.5	93.6	▲0.6	89.9	▲4.3	109.8	▲0.7	143.4	22.6	118.3	12.0	130.8	▲6.6
2	112.8	4.8	94.0	7.5	88.9	▲7.2	113.7	3.9	135.2	8.2	113.8	3.8	132.0	▲4.4
3	113.7	8.0	90.2	4.6	87.1	▲7.1	129.8	22.3	127.3	10.4	113.5	6.9	141.2	▲7.9
4														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2015年=100) 福岡市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2014年	5.8	4.7	4,674	▲1.4	3,450	▲10.5	37,035	▲10.4	▲17.5	0.0	▲20.6	98.1	▲1.5	676,846	1.7
2015年	5.9	▲0.8	4,283	▲8.4	3,585	3.9	40,415	9.1	2.1	8.9	16.3	100.0	1.9	680,278	0.5
2016年	▲4.8	▲14.9	4,324	1.0	4,049	12.9	42,856	6.0	4.4	16.3	▲15.9	100.5	0.5	671,177	▲1.3
2016.3	▲8.7	▲12.8	319	▲30.6	387	8.2	3,594	7.0	8.6	25.4	▲26.5	100.4	1.0	56,546	▲2.2
4	▲19.2	▲19.5	467	▲3.7	303	▲25.3	3,472	0.8	7.1	2.9	▲12.7	100.4	0.5	51,401	▲2.6
5	▲12.7	▲14.3	332	▲1.7	338	15.3	3,731	23.7	11.7	15.0	83.9	100.4	0.1	54,278	▲1.9
6	▲8.0	▲18.8	627	49.6	279	35.9	4,149	▲10.4	▲7.3	23.2	▲69.3	100.3	0.1	51,616	▲2.1
7	▲7.0	▲30.4	401	▲5.5	282	▲2.9	3,168	▲6.8	4.7	▲14.5	▲2.6	100.2	▲0.1	62,427	1.7
8	▲11.8	▲12.4	443	30.1	320	40.3	3,608	22.3	8.5	29.3	24.4	100.2	▲0.1	53,227	▲4.5
9	▲2.1	▲18.8	419	▲5.1	388	74.7	3,261	3.7	11.0	3.2	▲3.6	100.5	▲0.4	49,066	▲4.8
10	▲8.0	▲16.0	451	4.5	392	19.1	3,797	24.2	9.7	42.5	7.8	101.1	0.5	54,196	▲2.1
11	18.9	2.2	250	▲2.5	539	176.5	3,672	▲13.7	▲3.1	16.5	▲69.8	101.2	0.9	56,003	0.5
12	23.8	2.7	288	67.0	191	▲48.3	3,861	13.4	4.1	17.8	12.7	100.7	0.5	74,653	▲0.8
2017.1	33.0	11.2	195	16.2	210	29.4	3,202	17.6	▲3.1	2.3	156.7	100.5	0.6	57,509	▲0.3
2	35.1	▲0.2	248	53.7	396	▲15.7	3,523	▲7.8	4.2	▲1.6	▲26.5	100.4	0.0	47,655	▲4.8
3	25.9	14.3	512	60.5	199	▲48.6	3,574	▲0.6	2.5	0.5	▲8.9	100.4	0.0	55,064	▲2.6
4	▲45.1	24.6	430	▲7.9	200	▲34.1	3,606	3.9	▲3.9	2.2	18.9	100.8	0.4	51,514	0.2
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡 大都市圏				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出			件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2014 年	115,376	1.9	70,311	2.7	395,716	▲3.3	305,204	▲0.6	0.96	329	▲6.3	206,173	3.3	164,399	4.1
2015 年	106,139	▲8.0	60,246	▲14.3	386,647	▲2.3	319,738	4.8	1.10	354	7.6	211,519	2.6	171,225	4.2
2016 年	110,664	4.3	54,467	▲9.6	439,616	13.7	308,334	▲3.6	1.26	321	▲9.3	219,064	3.6	178,307	4.1
2016. 3	13,510	▲1.2	7,406	▲20.2	368,095	14.3	333,932	▲6.2	1.21	25	▲10.7	213,976	2.3	174,282	4.3
4	6,940	10.0	3,360	▲9.8	400,040	11.0	332,752	1.9	1.23	27	▲27.0	216,398	3.3	173,336	4.2
5	7,347	9.4	3,190	▲15.8	352,756	18.6	289,176	▲9.4	1.24	27	0.0	213,985	1.7	173,208	4.0
6	9,623	4.3	3,575	▲29.5	543,304	2.3	283,681	▲4.7	1.26	26	▲42.2	214,014	2.1	173,043	3.9
7	9,914	6.3	4,227	0.2	529,919	41.6	302,959	▲5.5	1.26	33	26.9	215,155	3.4	173,638	3.7
8	7,884	8.1	3,788	5.0	401,460	13.2	294,163	▲8.2	1.31	24	▲14.3	215,069	2.9	173,785	3.5
9	10,772	4.3	5,145	▲10.8	354,689	10.0	285,522	▲2.4	1.29	17	▲26.1	214,597	3.1	174,546	3.7
10	8,009	▲1.4	4,629	17.2	407,834	7.4	319,619	▲10.1	1.31	37	68.2	215,707	3.1	175,145	3.4
11	9,272	17.2	4,281	▲0.6	348,481	7.3	279,716	▲6.1	1.30	25	▲16.7	217,116	3.8	176,010	3.5
12	9,247	7.0	4,342	8.9	854,181	22.2	360,943	3.6	1.32	21	▲12.5	219,064	3.6	178,307	4.1
2017. 1	9,405	12.1	4,942	7.2	376,476	11.3	312,645	▲2.8	1.32	28	▲12.5	216,991	2.6	178,453	3.7
2	11,830	21.3	6,152	4.0	441,635	17.4	304,558	2.9	1.32	26	▲3.7	218,262	3.1	179,537	4.2
3	15,862	17.4	7,384	▲0.3	378,140	2.7	369,919	10.8	1.33	21	▲16.0	222,092	3.8	180,976	3.8
4	7,855	13.2	4,409	31.2	413,594	3.4	313,714	▲5.7	1.35	21	▲22.2	223,941	3.5	180,611	4.2
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		食料品		電子部品		はん用・生産用機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2014年	111.3	6.1	96.5	▲3.7	170.1	20.6	113.2	8.9	87.2	▲0.1	107.1	6.4	88.2	▲3.7
2015年	115.4	3.7	96.5	▲0.0	190.1	11.7	119.9	5.9	81.2	▲6.9	112.2	4.8	91.9	4.2
2016年	122.4	6.1	75.9	▲21.3	244.6	28.7	137.4	14.6	86.0	5.9	117.5	4.7	81.8	▲11.0
2016.3	118.4	10.9	96.5	1.5	204.0	12.3	129.9	45.1	92.1	17.0	114.1	9.1	84.5	▲10.8
4	96.2	▲22.0	73.9	▲25.4	194.9	▲9.5	84.8	▲33.6	73.6	▲9.9	96.4	▲18.5	82.2	▲14.6
5	93.3	▲20.0	64.4	▲32.6	183.5	▲17.0	99.1	13.9	38.7	▲47.4	87.1	▲23.5	79.9	▲14.2
6	118.9	▲2.0	69.2	▲30.1	230.0	22.8	168.3	▲11.4	62.0	▲20.7	115.9	▲1.9	79.1	▲22.8
7	124.5	2.1	67.8	▲30.9	251.9	30.2	188.1	25.4	63.4	▲14.2	119.9	2.1	81.8	▲12.1
8	133.2	22.4	68.3	▲26.3	267.6	40.8	189.1	90.4	77.6	0.7	131.2	21.2	74.7	▲16.2
9	134.5	14.5	66.3	▲31.5	268.4	35.4	207.2	67.9	87.9	8.4	125.7	9.8	77.3	▲12.4
10	134.8	10.4	69.2	▲28.9	278.3	29.7	135.7	8.2	113.7	28.6	127.2	7.1	80.5	▲7.5
11	139.3	30.8	68.4	▲29.0	332.6	113.9	110.1	▲8.8	115.8	33.0	133.1	25.6	80.1	▲8.1
12	147.0	42.2	77.0	▲19.6	336.9	166.8	176.5	76.4	107.0	15.3	137.8	33.7	83.1	▲5.0
2017.1	149.4	36.7	80.7	▲15.0	343.5	109.6	172.9	122.4	97.0	7.6	137.6	26.4	90.5	▲0.9
2	149.3	33.1	78.2	▲23.1	355.8	119.2	159.6	50.7	105.8	12.1	137.4	26.8	92.7	7.8
3	140.5	18.7	73.9	▲23.4	301.6	47.9	147.3	13.4	114.0	23.8	131.8	15.6	97.0	14.8
4														
出所	熊本県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2015年=100) 熊本市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2014年	▲0.5	6.5	2,060	▲20.0	1,118	▲5.5	11,267	▲6.7	▲15.4	▲7.9	30.0	99.1	▲0.0	161,557	4.2
2015年	8.4	0.1	1,825	▲11.4	1,029	▲8.0	10,723	▲4.8	0.8	▲12.8	▲12.3	100.0	0.9	159,301	▲1.4
2016年	▲10.0	▲22.5	2,183	19.7	1,280	24.4	12,766	19.1	23.9	24.6	5.8	100.5	0.5	153,060	▲3.9
2016.3	▲1.6	▲32.6	197	8.8	43	▲55.2	1,042	7.4	28.4	▲10.5	133.8	100.1	0.7	13,292	1.7
4	▲15.7	▲41.5	151	44.1	148	75.9	999	22.1	2.3	40.3	101.5	100.1	0.0	8,118	▲33.3
5	▲35.3	▲27.8	85	▲6.2	117	178.5	776	▲10.8	▲19.6	▲18.2	9.3	100.2	▲0.1	9,777	▲22.2
6	13.6	11.3	173	31.4	98	▲0.4	915	▲9.9	▲22.2	▲3.0	▲12.0	100.6	0.6	11,994	0.7
7	▲23.5	▲43.9	142	▲41.5	113	9.2	1,122	13.8	14.5	75.6	▲50.3	100.7	0.5	14,778	2.8
8	▲19.3	▲46.7	255	53.1	227	189.4	922	▲8.2	21.0	▲9.5	▲63.9	100.8	0.6	12,628	▲1.6
9	▲15.1	▲11.1	243	11.3	55	▲59.0	969	17.7	12.9	34.6	▲11.0	100.7	0.2	11,698	0.5
10	▲8.7	▲6.7	223	10.4	178	128.6	1,453	34.9	38.6	38.4	▲12.1	101.2	0.4	13,212	2.5
11	▲16.8	▲12.3	230	37.7	58	18.6	1,497	122.8	124.6	126.9	116.3	101.0	0.7	13,503	5.8
12	20.6	▲12.6	299	124.0	132	163.4	1,320	56.4	95.8	25.6	▲3.5	100.6	0.3	19,254	5.3
2017.1	3.2	▲9.7	179	52.2	46	▲0.1	1,161	56.0	46.4	6.1	375.8	100.4	0.6	14,087	4.2
2	12.4	▲4.4	210	211.5	142	127.5	1,072	6.5	94.9	▲35.5	▲43.4	100.3	0.3	11,502	1.4
3	▲9.2	26.3	493	149.6	134	210.9	1,090	4.6	29.0	▲9.3	▲18.9	100.4	0.3	13,678	2.9
4	438.5	378.5	320	112.5	196	31.7	1,455	45.6	100.0	19.4	9.5	100.5	0.4	12,725	56.7
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省				九州経済産業局		

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 熊本市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出			件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2014 年	36,838	2.6	34,373	1.6	389,589	▲2.0	309,347	3.2	1.00	65	▲9.7	55,705	1.8	33,937	4.0
2015 年	33,186	▲9.9	29,751	▲13.4	409,766	5.2	319,388	3.2	1.14	71	9.2	55,300	▲0.7	35,424	4.4
2016 年	35,787	7.8	26,465	▲11.0	394,754	▲3.7	287,995	▲9.8	1.44	42	▲40.8	55,319	0.0	37,437	5.7
2016. 3	4,293	2.4	3,443	▲17.6	363,626	8.5	284,927	▲14.6	1.31	2	▲77.8	57,202	2.0	35,732	3.5
4	1,560	▲25.9	1,447	▲22.8	338,036	▲2.8	216,390	▲36.8	1.39	3	50.0	58,372	3.7	35,163	3.8
5	2,592	20.0	1,445	▲26.2	308,514	4.7	261,644	▲11.1	1.42	3	▲40.0	61,573	9.1	35,931	4.5
6	3,148	19.4	1,816	▲27.7	396,652	▲22.5	239,011	▲18.7	1.42	3	▲50.0	62,141	7.9	36,127	4.9
7	3,355	8.0	2,274	5.7	518,949	7.3	339,314	2.3	1.45	3	▲66.7	62,141	9.4	36,503	5.5
8	2,559	17.8	2,242	17.6	293,276	▲23.6	264,057	▲24.4	1.45	3	▲62.5	62,452	10.4	36,617	6.0
9	3,625	7.0	2,691	▲7.7	328,068	▲8.1	393,881	22.7	1.51	4	▲42.9	62,227	10.8	36,878	5.2
10	2,898	16.2	2,074	6.6	441,091	2.3	310,637	▲2.1	1.59	2	▲71.4	62,314	10.2	36,838	6.0
11	3,125	30.5	2,051	▲10.2	321,303	▲10.6	268,636	▲19.7	1.61	3	▲25.0	62,565	10.0	36,938	5.8
12	2,976	11.5	1,941	▲9.3	655,685	▲8.3	331,831	▲3.0	1.65	1	▲66.7	62,635	7.9	37,437	5.7
2017. 1	3,061	19.9	2,326	8.0	304,318	▲12.9	353,805	28.3	1.64	3	▲40.0	61,854	8.3	37,260	6.1
2	4,029	29.8	3,084	6.8	401,149	▲5.0	301,514	11.8	1.61	4	▲60.0	62,063	9.1	37,320	6.2
3	5,303	23.5	3,605	4.7	320,106	▲12.0	315,490	10.7	1.67	3	50.0	62,457	9.2	38,016	6.4
4	2,569	64.7	2,096	44.9	357,040	5.6	354,048	63.6	1.82	2	▲33.3	63,385	8.6	37,556	6.8
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										電子部品 生産高
	総合		はん用・生産用機械		食料品		電子部品		輸送機械		
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	
2014年	84.6	0.2	123.6	45.7	106.7	▲2.2	45.8	▲6.9	81.9	▲12.6	0.0
2015年	80.9	▲4.4	111.7	▲9.6	111.1	4.1	33.3	▲27.2	82.7	1.0	0.0
2016年	79.7	▲1.5	78.7	▲29.5	105.0	▲5.5	30.8	▲7.5	105.3	27.3	0.0
2016.3	95.4	13.2	91.8	▲19.0	108.7	1.3	32.5	▲9.8	130.7	58.7	3.1
4	89.1	2.7	71.9	▲48.1	110.0	▲6.7	36.8	5.7	138.8	83.8	5.5
5	69.4	▲19.5	78.0	▲47.9	103.1	▲9.4	28.9	▲11.6	86.7	9.9	0.6
6	72.5	▲10.0	78.5	▲41.0	105.1	▲6.8	22.3	▲28.2	100.6	24.4	▲12.8
7	67.9	▲17.9	69.7	▲45.5	106.0	▲10.1	22.6	▲23.9	88.3	6.8	▲13.2
8	67.9	▲6.7	84.7	▲24.5	109.0	0.7	24.9	▲15.5	84.4	5.4	0.1
9	72.7	▲4.3	84.9	▲24.5	106.8	▲2.9	28.2	▲6.9	83.5	12.1	4.8
10	82.6	5.2	79.6	▲14.1	104.5	▲6.3	31.6	▲2.3	99.2	14.5	6.8
11	91.6	22.3	79.4	6.2	109.0	0.8	37.3	11.6	120.5	49.0	▲3.5
12	100.0	26.0	80.1	▲3.3	107.6	0.0	36.1	8.9	168.7	63.4	▲13.1
2017.1	93.3	26.2	78.8	2.1	116.1	57.6	42.8	3.0	138.0	63.1	23.0
2	101.4	34.5	109.8	64.7	113.1	▲1.9	48.8	▲3.3	126.5	57.1	5.7
3	95.9	0.6	114.5	24.8	109.9	1.2	31.0	▲4.7	142.0	8.7	15.1
4											4.8
出所	長崎県統計課										日本銀行長崎支店

項目 年月	貿易		漁業水揚金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設 入場者数 (主要6施設合計)		消費者物価指数 (2015年=100) 長崎市		
	輸出金額	輸入金額							合計	持家	貸家	分譲			指数		
	前年比(%)	前年比(%)	百万円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	千人	前年比(%)		前年比(%)
2014 年	14.2	▲1.2	56,060	▲6.6	1,920	▲2.7	1,052	53.0	6,283	▲5.7	▲5.5	▲12.2	14.3	2,211	1.4	98.9	▲0.7
2015 年	▲12.2	▲17.7	60,239	7.5	1,701	▲11.4	826	▲21.4	6,262	▲0.3	▲1.1	14.8	▲37.5	2,396	8.3	100.0	1.1
2016 年	21.8	▲20.7	55,273	▲8.2	2,042	20.0	582	▲29.6	7,147	14.1	2.3	13.3	57.9	2,072	▲13.5	100.2	0.2
2016. 3	262.8	▲21.8	5,640	0.8	174	▲16.5	28	▲37.5	527	▲22.3	▲3.2	▲39.1	▲16.7	213	▲1.1	99.9	0.1
4	90.3	▲42.7	5,541	14.5	440	114.2	51	▲60.9	619	54.8	4.6	96.8	125.0	138	▲16.5	100.1	0.0
5	68.2	▲39.4	4,114	▲15.6	142	106.7	53	▲42.8	419	▲14.0	▲11.9	▲1.2	▲71.6	191	▲35.4	100.1	▲0.4
6	20.4	▲42.3	4,076	▲7.6	165	10.4	62	▲3.5	563	▲12.2	2.0	▲23.6	12.5	104	▲32.6	100.1	0.0
7	▲46.1	▲38.4	4,033	4.3	198	▲3.7	42	▲17.1	575	▲5.6	▲4.0	▲4.4	▲25.3	149	▲17.9	100.0	0.1
8	126.3	▲28.6	4,114	▲0.8	141	▲24.6	47	52.7	638	27.9	15.2	47.3	▲50.0	253	▲11.0	100.1	0.1
9	▲7.4	▲17.1	4,310	▲12.1	235	46.1	73	107.9	833	127.6	7.8	329.8	523.1	185	▲20.0	100.2	▲0.2
10	8.0	▲13.6	4,078	▲19.0	186	30.2	66	▲57.8	608	36.0	29.3	83.9	▲34.4	203	▲16.9	100.5	▲0.1
11	▲46.7	26.4	4,657	▲9.1	127	20.3	29	▲69.6	520	▲15.6	▲10.6	▲38.1	174.3	210	▲5.9	100.7	0.7
12	▲21.6	9.2	5,539	▲13.5	96	18.5	53	27.6	661	34.1	▲2.4	77.7	45.1	153	▲1.9	100.2	0.3
2017. 1	▲17.1	16.6	4,827	12.4	124	55.9	44	5.0	669	▲13.3	▲5.6	5.9	▲23.3	123	11.4	100.2	0.4
2	10.7	30.7	4,982	2.2	119	102.2	48	35.2	608	47.6	19.7	89.3	▲28.2	143	▲11.9	100.1	0.0
3	▲26.8	41.1	5,826	3.3	234	34.5	77	173.1	550	4.4	▲10.7	22.4	55.0	201	▲5.9	100.2	0.2
4	▲89.7	74.8	5,194	▲6.3	511	16.1	137	167.3	396	▲36.0	▲14.6	▲33.3	▲83.3			100.5	0.4
出所	財務省		県内主要 4 魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部				総務省		

項目 年月	百貨店・スーパー 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市				有効 求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
			乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	百万円	前年比(%)	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2014 年	113,734	▲1.5	22,094	2.0	27,163	1.8	358,973	▲8.4	309,296	0.4	0.83	64	30.6	46,661	2.9	25,473	3.4
2015 年	111,843	▲1.7	19,805	▲10.4	22,030	▲18.9	365,908	1.9	287,211	▲7.1	1.00	40	▲37.5	47,340	1.5	26,243	3.0
2016 年	108,906	▲2.6	21,208	7.1	18,906	▲14.2	380,903	4.1	306,354	6.7	1.23	39	▲2.5	48,440	2.3	27,204	3.7
2016. 3	8,927	▲5.4	2,626	2.7	2,549	▲19.8	399,793	25.5	357,676	24.4	1.22	2	▲33.3	48,388	1.5	26,678	3.3
4	8,408	▲3.6	1,417	15.2	1,301	▲8.9	289,057	▲6.4	337,414	2.5	1.25	4	33.3	48,847	2.5	26,217	3.9
5	8,917	▲2.3	1,420	13.0	1,207	▲20.5	312,711	6.8	294,193	12.1	1.22	4	0.0	48,411	1.2	26,705	4.5
6	8,472	▲2.7	1,848	14.6	1,372	▲36.0	484,537	▲3.9	251,335	▲6.2	1.26	1	▲80.0	48,552	0.9	26,669	4.5
7	10,241	▲1.3	1,881	7.1	1,518	▲13.2	468,151	42.8	408,365	49.6	1.26	6	200.0	48,120	1.6	26,779	4.3
8	9,022	▲4.5	1,430	6.0	1,323	4.5	390,357	14.5	282,883	12.0	1.28	3	▲25.0	47,958	0.8	26,844	4.5
9	7,930	▲5.0	1,896	▲6.1	1,860	0.8	291,296	0.9	265,506	1.5	1.27	5	400.0	47,787	1.4	26,851	4.0
10	8,649	▲2.6	1,580	7.4	1,432	▲2.1	318,792	▲6.9	305,823	▲11.1	1.27	4	33.3	47,874	1.7	26,845	3.8
11	9,030	▲0.5	1,748	28.8	1,401	▲6.8	289,795	▲9.4	235,238	▲25.2	1.22	2	0.0	48,198	2.4	26,937	4.1
12	11,882	▲3.4	1,884	26.3	1,473	▲1.1	585,763	▲6.6	306,072	2.1	1.24	3	0.0	48,440	2.3	27,204	3.7
2017. 1	8,949	▲3.3	1,881	12.5	1,696	1.7	291,650	▲17.9	257,378	▲16.7	1.22	4	0.0	48,240	2.1	27,123	3.8
2	7,710	▲5.6	2,063	14.2	2,009	11.4	302,351	▲21.5	243,470	▲24.6	1.23	1	0.0	48,277	2.4	27,207	4.1
3	8,508	▲4.7	3,148	19.9	2,596	1.8	275,010	▲31.2	268,649	▲24.9	1.22	3	50.0	48,782	0.8	27,530	3.2
4	8,277	▲1.6	1,436	1.3	1,411	8.5	311,915	7.9	323,941	▲4.0	1.26	2	▲50.0	49,408	1.1	27,270	4.0
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、平戸、松浦の4市場の合計。

観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パルシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		一般機械		電子部品		化学		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2014年	95.4	3.2	73.0	0.8	49.3	4.6	97.0	5.2	93.9	▲2.5	98.1	2.1	78.0	▲15.9
2015年	94.3	▲1.2	72.7	▲0.4	48.1	▲2.5	96.5	▲0.5	94.2	0.3	97.0	▲1.1	84.7	8.6
2016年	93.1	▲1.3	72.3	▲0.6	50.8	5.6	95.6	▲0.9	96.7	2.7	96.6	▲0.4	83.5	▲1.4
2016.3	92.9	▲6.6	95.3	2.1	51.4	3.4	98.9	▲2.7	92.6	1.1	93.2	▲6.1	85.2	▲3.1
4	88.8	0.4	58.9	7.9	46.0	▲3.4	84.2	▲8.1	99.1	5.9	91.8	▲0.2	86.1	0.7
5	92.0	0.7	64.5	▲22.5	51.6	7.7	89.4	14.6	97.8	5.8	96.1	1.4	84.4	0.5
6	98.8	5.9	72.3	4.8	50.4	3.6	117.9	17.6	98.9	8.7	100.6	5.0	82.3	▲2.4
7	91.0	▲6.1	63.6	▲14.0	47.0	1.3	88.8	▲15.0	98.7	3.7	95.4	▲4.4	86.0	3.7
8	90.7	▲3.3	69.4	5.4	55.1	4.2	88.4	▲6.2	94.3	3.8	95.1	▲0.9	82.9	▲5.1
9	91.3	▲5.4	75.9	▲17.1	50.9	10.2	104.8	5.3	94.8	2.2	96.9	▲3.7	83.6	▲6.3
10	92.9	▲2.5	77.8	26.9	52.9	13.7	89.5	▲10.5	98.0	4.0	98.5	0.1	79.4	▲8.5
11	93.3	1.0	52.6	▲13.9	57.0	23.5	89.5	▲4.5	96.8	4.1	96.9	3.8	83.0	▲0.5
12	98.6	3.5	95.2	40.0	57.4	26.5	109.3	9.1	95.4	▲11.5	103.3	9.1	85.5	▲0.7
2017.1	91.1	▲4.0	73.9	▲13.7	59.5	36.3	79.8	▲4.7	99.6	▲0.8	95.9	▲2.1	75.8	▲7.6
2	91.7	▲3.1	54.5	▲13.1	58.7	19.1	110.8	▲0.3	91.9	▲4.7	94.5	▲0.8	76.1	▲7.2
3	87.6	▲5.7	73.5	▲22.9	63.3	23.1	85.8	▲13.3	91.6	▲1.1	90.9	▲2.5	74.3	▲12.8
4														
出所	佐賀県統計分析課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2015年=100) 佐賀市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2014年	5.0	21.5	1,127	▲4.3	753	10.2	4,830	▲13.3	▲20.0	▲9.1	▲3.0	99.1	▲0.3	62,431	▲1.7
2015年	▲8.4	▲12.0	1,012	▲10.2	702	▲6.7	4,941	2.3	▲3.2	26.3	▲48.3	100.0	1.0	64,345	3.1
2016年	9.2	▲13.5	972	▲3.9	738	5.1	5,463	10.6	13.1	4.9	37.1	100.2	0.2	65,250	1.4
2016.3	▲33.8	▲15.5	65	6.9	43	26.7	479	105.6	▲4.3	420.0	204.8	99.9	0.3	5,164	▲0.3
4	44.8	▲18.0	151	▲14.6	85	▲8.0	304	▲18.1	▲18.9	▲20.2	4.3	100.0	0.0	5,013	0.6
5	11.9	▲5.8	82	63.3	26	31.1	595	45.8	43.6	47.7	39.1	100.3	0.0	5,223	2.1
6	410.0	▲39.9	81	▲3.1	50	▲63.5	360	▲30.8	▲5.4	▲51.7	▲20.8	100.1	0.0	5,068	0.7
7	▲46.9	▲2.2	84	6.3	69	6.1	656	43.9	56.4	64.5	▲40.5	100.1	0.0	5,827	4.0
8	982.8	▲15.3	88	▲33.0	34	▲65.4	302	▲37.0	▲12.5	▲61.8	36.4	100.2	0.0	5,528	▲1.6
9	▲8.1	8.1	170	119.5	193	320.6	522	9.9	▲2.2	10.9	67.6	100.4	0.1	4,801	▲4.2
10	▲36.8	▲31.4	66	▲16.0	8	▲60.2	508	14.9	33.9	▲21.4	278.3	100.7	0.0	5,456	1.0
11	▲35.2	2.9	56	▲15.5	84	39.7	436	▲13.3	▲3.7	▲20.6	0.0	101.0	0.8	5,528	2.0
12	2.3	13.5	45	▲26.4	98	55.6	562	89.9	58.5	167.0	▲10.0	100.4	0.4	7,033	▲3.0
2017.1	▲71.5	17.9	54	32.7	71	267.4	427	7.0	▲11.6	34.9	▲28.9	100.2	0.5	5,374	▲5.7
2	▲80.6	2.0	73	66.3	28	▲4.3	449	32.1	▲6.5	72.2	89.5	100.1	0.2	4,678	▲4.8
3	128.9	35.0	113	74.3	33	▲23.8	421	▲12.1	16.1	▲21.9	▲42.2	100.1	0.2	5,176	0.2
4	751.0	748.3	126	▲16.6	45	▲46.8	332	9.2	4.2	15.2	0.0	100.5	0.5	5,078	1.3
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
2014 年	15,393	2.5	17,270	3.4	436,905	0.0	300,942	▲6.2	0.89	37	▲27.5	22,662	0.9	12,130	4.4
2015 年	14,071	▲8.6	14,437	▲16.4	456,886	4.6	298,373	▲0.9	0.97	35	▲5.4	23,158	2.2	12,618	4.0
2016 年	14,383	2.2	13,016	▲9.8	429,523	▲6.0	309,846	3.8	1.29	40	14.3	23,645	2.1	12,920	2.4
2016. 3	1,826	0.8	1,723	▲22.2	292,962	▲14.6	284,728	▲17.0	1.24	2	100.0	23,500	0.8	12,680	3.4
4	922	9.9	856	▲6.1	386,304	▲7.4	308,952	4.1	1.28	4	100.0	23,629	2.3	12,641	4.1
5	1,032	11.7	740	▲25.5	271,510	▲16.0	263,693	▲11.0	1.29	4	100.0	23,569	1.8	12,629	2.3
6	1,324	11.2	831	▲33.4	567,869	▲18.2	261,723	▲11.3	1.29	7	250.0	23,579	1.6	12,678	2.8
7	1,270	0.7	1,019	▲3.8	493,414	0.9	279,424	4.2	1.32	5	150.0	23,499	1.9	12,746	2.8
8	1,044	14.3	962	9.8	395,391	▲11.5	324,942	7.6	1.31	3	▲25.0	23,307	1.1	12,765	2.6
9	1,426	5.2	1,305	8.8	335,360	▲9.7	311,089	14.8	1.33	3	0.0	23,164	1.5	12,741	2.5
10	592	▲43.9	966	▲12.1	428,694	▲5.7	405,826	33.9	1.35	3	▲57.1	23,280	1.5	12,747	2.4
11	1,147	12.2	1,004	▲3.1	334,790	▲12.7	324,859	33.2	1.37	5	0.0	23,555	2.8	12,748	2.2
12	1,187	12.7	1,040	6.7	873,708	12.5	386,916	21.3	1.37	0	▲100.0	23,645	2.1	12,920	2.4
2017. 1	1,307	2.6	1,268	2.4	304,318	▲9.5	310,529	5.9	1.40	2	0.0	23,561	1.8	12,849	1.7
2	1,569	17.2	1,355	1.7	425,076	▲2.9	349,038	27.9	1.37	2	0.0	23,679	3.7	12,901	2.0
3	2,291	25.5	1,822	5.7	383,201	30.8	368,133	29.3	1.37	1	▲50.0	24,297	3.4	13,000	2.5
4	1,028	11.5	1,081	26.3	373,253	▲3.4	340,114	10.1	1.43	3	▲25.0	24,489	3.6	12,921	2.2
出所	日本自動車販売協会連合会	全国軽自動車協会連合会			総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 大分 Oita

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		鉄鋼		はん用・生産用機械		電子部品		化学		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2014年	96.6	▲0.7	103.6	▲2.4	106.5	3.7	83.5	▲1.5	96.5	▲9.4	93.5	▲2.1	93.7	▲9.9
2015年	99.6	3.1	103.1	▲0.5	103.1	▲3.2	103.1	23.4	103.1	6.8	93.1	▲0.4	95.8	2.2
2016年	97.1	▲2.5	100.0	▲3.0	100.0	▲3.0	100.0	▲3.0	100.0	▲3.0	91.2	▲2.0	93.9	▲2.0
2016.3	98.6	▲5.2	94.9	▲8.5	128.2	8.7	72.7	▲18.8	100.3	▲14.9	94.7	▲4.2	90.8	▲1.8
4	99.8	▲3.7	99.2	▲7.6	123.2	6.3	89.1	▲5.2	101.3	▲9.4	94.5	▲3.8	92.3	▲5.2
5	92.0	▲10.6	106.2	▲3.1	107.6	▲20.8	91.5	1.6	82.9	▲30.3	87.9	▲8.0	92.5	▲8.0
6	95.1	▲6.8	101.1	▲3.3	116.6	▲8.1	80.2	▲10.6	94.5	▲17.7	87.1	▲10.0	92.4	▲4.2
7	99.6	▲1.4	101.3	0.1	121.7	▲5.6	90.3	▲2.6	108.6	7.9	91.5	▲3.1	97.8	0.3
8	98.6	0.9	111.1	5.1	119.8	▲1.8	88.2	4.0	101.0	▲9.4	93.5	2.4	92.4	▲6.4
9	96.1	▲1.1	96.6	▲2.3	115.4	▲13.1	88.9	26.4	94.2	▲5.7	89.0	▲0.2	92.5	▲2.7
10	94.8	▲4.4	99.2	▲3.4	114.3	▲12.6	79.4	▲8.8	91.5	▲6.5	88.9	▲3.0	94.8	▲0.4
11	100.1	6.9	103.1	2.5	127.3	2.1	83.5	1.6	103.6	5.3	93.6	9.4	92.9	0.1
12	96.7	0.1	103.7	▲1.7	120.5	▲5.3	79.3	▲2.6	97.0	▲2.6	91.7	5.6	94.4	▲0.5
2017.1	96.2	0.0	78.0	▲22.5	131.2	11.3	82.5	3.0	95.4	▲5.3	92.7	3.7	88.4	▲9.5
2	98.2	▲3.3	81.2	▲18.7	127.3	▲2.5	89.2	3.7	95.6	▲4.1	90.8	▲6.3	89.1	▲6.1
3	95.7	▲1.4	73.3	▲23.5	121.8	▲5.6	71.8	0.5	107.3	6.7	91.3	▲2.4	88.6	▲3.6
4														
出所	大分県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2015年=100) 大分市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2014年	▲16.3	5.4	1,403	▲19.0	700	▲30.5	6,165	▲17.0	▲18.9	▲10.8	▲27.1	99.0	▲1.1	113,025	▲0.8
2015年	▲4.7	▲28.7	1,331	▲5.1	848	21.2	7,254	17.7	3.2	17.5	59.6	100.0	1.0	110,621	▲2.1
2016年	▲15.3	▲33.0	1,286	▲3.4	780	▲8.0	7,139	▲1.6	0.6	2.2	▲17.9	100.1	0.1	110,157	▲0.4
2016.3	▲29.3	▲43.6	113	47.4	63	▲19.5	637	18.8	8.2	12.4	86.8	99.7	0.2	9,420	▲1.5
4	▲13.9	▲42.9	148	▲44.4	56	22.4	428	▲10.6	▲25.0	78.8	▲52.9	100.1	0.2	8,180	▲2.1
5	▲42.1	▲36.2	48	▲49.3	74	▲24.2	777	49.1	16.1	76.4	▲31.7	100.4	▲0.1	8,605	▲0.6
6	▲35.1	▲47.8	58	▲38.2	61	▲28.5	791	25.8	19.5	65.8	▲64.5	100.3	0.2	8,447	2.5
7	▲26.7	▲35.8	138	24.0	49	▲61.6	618	▲38.9	▲12.9	▲45.1	▲62.0	100.0	▲0.1	10,483	4.1
8	▲24.2	▲37.9	89	▲14.9	89	106.0	575	44.5	▲8.2	148.5	▲6.1	100.0	▲0.4	8,921	▲0.9
9	▲5.8	▲37.7	184	11.8	35	▲52.7	618	5.3	2.1	▲15.6	215.6	100.2	▲0.2	7,898	▲2.9
10	1.1	▲31.2	206	44.9	49	17.1	675	15.8	12.9	24.0	▲6.3	100.6	0.1	8,924	▲1.3
11	15.8	▲6.5	78	15.9	65	39.9	488	▲31.6	2.5	▲50.5	▲48.2	100.5	0.4	9,103	0.2
12	40.1	▲1.4	85	35.1	72	▲29.4	622	4.5	17.5	▲30.5	184.4	100.1	0.2	12,604	▲1.8
2017.1	22.7	5.7	81	2.9	21	▲51.2	536	16.0	▲3.8	93.8	▲74.5	99.9	0.4	9,155	▲1.9
2	18.4	▲9.7	78	29.3	61	▲50.0	460	2.7	27.7	▲3.6	▲38.5	99.8	0.0	7,887	▲4.3
3	60.8	27.8	206	82.6	41	▲35.0	503	▲21.0	▲1.5	▲32.7	▲47.5	100.2	0.5	9,045	▲4.0
4	14.5	61.4	273	84.5	46	▲18.0	585	36.7	38.0	15.1	193.8	100.6	0.5	8,157	▲0.3
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 大分市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出			件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2014 年	25,450	2.6	25,200	11.1	424,746	▲5.3	316,410	▲7.7	0.90	42	▲27.6	35,354	1.8	22,620	4.2
2015 年	23,101	▲9.2	20,343	▲19.3	426,416	0.4	314,339	▲0.7	1.08	61	45.2	36,029	1.9	23,415	3.5
2016 年	24,208	4.8	17,789	▲12.6	419,002	▲1.7	299,858	▲4.6	1.29	39	▲36.1	37,217	3.3	23,671	1.1
2016. 3	3,008	▲0.7	3,011	5.6	326,558	▲6.4	296,002	▲15.7	1.19	5	▲28.6	36,365	2.0	23,519	3.2
4	1,575	1.5	1,099	▲14.5	397,461	4.8	323,669	▲5.5	1.22	6	0.0	36,555	2.9	23,420	3.6
5	1,647	12.0	1,014	▲24.2	304,653	▲20.7	303,265	6.7	1.23	2	▲33.3	36,424	1.7	23,437	3.4
6	2,118	6.6	1,175	▲29.0	614,623	24.8	392,327	22.6	1.25	2	▲33.3	36,916	2.6	23,514	3.0
7	2,257	10.6	1,333	▲15.3	408,101	▲17.9	295,980	6.7	1.31	8	33.3	36,743	3.7	23,548	2.7
8	1,683	1.8	1,134	▲9.4	391,352	1.4	285,802	5.6	1.34	2	▲33.3	36,520	2.6	23,534	2.7
9	2,192	0.1	1,571	▲14.6	312,737	▲0.9	291,758	11.0	1.36	2	▲66.7	36,354	2.6	23,659	2.4
10	1,776	9.4	1,354	▲2.6	368,919	▲8.5	256,085	▲5.8	1.38	0	▲100.0	36,542	2.5	23,499	1.8
11	1,955	17.6	1,394	▲8.8	351,743	4.1	273,140	▲33.0	1.37	3	▲40.0	36,826	3.9	23,409	1.2
12	2,048	26.9	1,304	▲1.3	755,548	▲6.1	324,333	3.2	1.43	1	▲50.0	37,217	3.3	23,671	1.1
2017. 1	2,033	15.4	1,635	7.5	357,263	▲4.2	317,051	15.1	1.42	4	▲20.0	36,781	2.9	23,558	1.1
2	2,557	16.9	2,006	6.8	402,982	▲4.8	347,792	24.0	1.40	1	▲66.7	37,006	3.8	23,583	0.8
3	3,402	13.1	2,267	▲24.7	364,651	11.7	322,550	9.0	1.44	3	▲40.0	37,401	2.8	23,721	0.9
4	1,769	12.3	1,361	23.8	404,495	1.8	303,634	▲6.2	1.50	2	▲66.7	37,539	2.7	23,591	0.7
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		電子部品		化学		電気・情報通信		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2014年	102.0	3.9	84.5	11.3	102.1	8.1	135.6	2.8	108.3	3.9	104.9	▲0.6	116.2	6.6
2015年	101.1	▲0.9	103.1	21.9	103.1	0.9	127.5	▲6.0	103.3	▲4.6	105.0	0.1	122.8	5.7
2016年	100.0	▲1.1	100.0	▲3.0	100.0	▲3.0	124.3	▲2.5	106.1	2.7	105.3	0.3	117.2	▲4.6
2016.3	99.3	▲2.8	92.2	▲8.7	94.2	▲7.5	122.0	▲8.9	105.1	4.5	103.8	2.0	118.0	▲7.0
4	99.8	0.3	88.0	▲19.4	95.0	▲6.8	122.7	▲5.7	109.3	19.7	105.4	▲0.4	118.0	▲5.8
5	98.9	▲1.9	84.2	▲18.5	113.7	34.3	121.7	▲5.3	105.0	3.0	101.3	▲3.1	118.7	▲4.6
6	98.3	▲4.8	86.7	▲16.3	69.4	▲36.7	126.8	0.3	109.5	5.8	103.3	▲9.0	118.8	▲3.5
7	100.3	▲5.3	91.9	▲9.3	96.9	▲4.4	126.9	1.8	105.1	▲12.9	107.3	1.9	117.1	▲4.4
8	101.6	3.2	85.7	▲11.8	98.6	4.4	125.8	5.3	113.8	10.5	109.0	8.8	117.3	▲3.2
9	100.0	1.6	93.7	1.9	94.2	▲5.7	126.8	2.3	104.7	1.6	109.9	7.9	115.7	▲5.1
10	101.4	3.4	97.0	22.8	97.0	0.1	126.2	2.2	104.0	▲2.6	105.8	▲4.7	116.2	▲2.7
11	100.1	▲1.6	91.1	▲1.6	94.1	▲13.9	118.9	▲2.9	104.2	1.0	104.1	▲0.3	115.4	▲6.1
12	99.0	0.2	85.6	▲10.1	97.5	14.9	119.4	▲6.2	106.5	2.0	97.8	▲7.5	114.1	▲5.0
2017.1	98.2	▲0.2	82.2	▲12.5	96.7	3.1	115.9	▲7.1	112.1	9.0	104.6	▲1.6	114.5	▲4.4
2	96.9	▲6.4	80.6	▲22.4	106.5	▲6.2	117.6	▲8.2	102.3	▲2.9	103.3	▲7.8	112.5	▲4.3
3	95.3	▲4.1	67.0	▲27.3	102.2	8.5	115.3	▲5.5	107.4	2.2	102.4	▲1.3	114.6	▲2.9
4														
出所	宮崎県総合政策部統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2015年=100) 宮崎市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額					合計		持家	貸家	分譲				
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2014年	6.9	22.9	1,479	▲12.8	619	▲15.8	6,440	▲18.2	▲15.8	▲18.5	▲24.6	99.1	▲1.0	73,975	▲1.0
2015年	8.6	0.9	1,097	▲25.9	637	3.0	6,443	0.0	0.1	0.1	▲0.9	100.0	0.9	74,458	0.7
2016年	▲22.4	▲19.2	1,273	16.1	670	5.2	7,337	13.9	6.4	17.5	31.8	100.3	0.2	71,989	▲3.3
2016.3	▲26.9	▲32.1	152	50.8	21	▲77.0	631	68.3	28.2	150.0	75.5	99.7	0.0	5,756	▲5.5
4	▲1.0	▲21.6	107	61.0	21	▲77.2	708	▲0.4	▲4.5	▲9.2	95.6	99.7	▲0.3	5,503	▲6.7
5	▲20.8	▲17.3	113	81.6	70	123.7	594	26.7	9.0	10.9	176.6	100.2	▲0.1	6,029	▲2.5
6	▲21.6	▲23.1	97	6.6	43	1.0	503	▲13.1	▲6.4	▲16.4	▲31.9	100.3	▲0.1	5,524	▲0.2
7	▲25.1	▲20.4	117	▲5.4	65	59.5	560	3.3	24.2	▲12.1	▲3.8	100.3	0.4	6,565	▲2.1
8	▲29.2	▲31.9	114	6.7	42	▲22.4	724	5.1	▲2.5	3.2	54.4	100.2	▲0.1	6,007	▲5.5
9	▲31.1	▲7.8	155	23.4	57	69.3	600	▲9.0	15.5	▲18.3	▲34.7	100.7	0.1	5,192	▲4.1
10	▲30.8	▲42.5	114	▲19.2	135	223.2	604	11.0	18.3	20.4	▲23.7	101.1	0.7	5,826	▲3.7
11	▲22.4	▲19.2	55	▲33.1	39	▲20.7	666	28.3	▲20.1	107.9	86.8	101.0	1.0	6,092	▲0.5
12	▲20.2	0.6	65	13.7	41	21.1	758	56.9	28.6	56.4	249.0	100.7	0.7	8,386	▲4.5
2017.1	▲24.6	55.4	79	▲28.8	28	▲75.7	413	1.0	▲24.4	61.7	▲8.0	100.6	1.1	5,997	1.3
2	▲5.1	▲5.5	141	94.3	33	46.6	616	6.2	8.6	▲3.8	24.5	100.8	1.2	5,174	▲0.3
3	▲6.3	5.9	123	▲18.8	20	▲3.3	496	▲21.4	▲5.8	▲33.1	▲35.5	100.2	0.5	5,916	2.8
4	▲17.5	8.8	117	9.7	30	45.9	694	▲2.0	9.9	▲2.7	▲22.7	100.5	0.8	5,493	▲0.2
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省				九州経済産業局		

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 宮崎市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
2014 年	22,004	1.1	23,607	7.7	327,618	▲10.9	276,273	▲6.0	0.93	42	10.5	28,395	4.2	21,550	8.5
2015 年	19,924	▲9.5	19,053	▲19.3	367,971	12.3	267,725	▲3.1	1.06	39	▲7.1	29,666	4.5	23,138	7.4
2016 年	20,883	4.8	15,516	▲18.6	377,602	2.6	322,961	20.6	1.33	31	▲20.5	30,469	2.7	24,227	4.7
2016. 3	2,330	▲6.8	2,333	▲10.3	316,800	2.8	407,450	35.0	1.24	1	0.0	29,908	3.4	23,315	6.6
4	1,502	22.6	911	▲31.3	369,384	8.8	367,077	33.0	1.29	3	▲40.0	29,872	2.8	23,164	7.0
5	1,533	12.4	972	▲26.4	305,462	13.7	323,512	14.7	1.34	1	▲75.0	29,743	2.1	23,068	5.4
6	1,801	14.6	1,018	▲35.7	550,385	14.5	301,035	28.7	1.36	5	66.7	30,091	2.6	23,166	6.4
7	1,788	▲3.7	1,197	▲16.4	423,167	32.5	297,129	15.3	1.37	2	▲33.3	29,728	2.5	23,222	5.9
8	1,521	0.9	1,001	▲8.2	332,631	5.6	277,695	0.8	1.40	2	▲33.3	29,984	3.1	23,316	6.1
9	1,973	3.8	1,486	▲18.1	291,182	▲4.7	325,336	35.6	1.38	5	25.0	29,919	2.6	23,427	4.7
10	1,565	▲1.4	1,172	▲15.4	336,636	1.4	316,538	26.3	1.39	4	▲20.0	29,982	3.0	23,486	4.4
11	1,852	26.7	1,189	▲8.5	305,183	2.4	257,669	7.7	1.41	4	33.3	30,122	3.1	23,744	5.4
12	1,622	15.3	1,219	▲0.2	632,685	▲24.5	362,157	2.7	1.40	1	▲80.0	30,469	2.7	24,227	4.7
2017. 1	1,861	14.2	1,320	▲4.3	312,448	▲2.7	386,229	6.5	1.45	2	0.0	30,449	4.1	24,124	5.0
2	2,167	22.6	1,539	▲6.1	311,735	▲10.0	245,282	▲11.6	1.45	3	200.0	30,765	3.4	24,165	4.8
3	2,928	25.7	2,077	▲11.0	311,432	▲1.7	333,506	▲18.1	1.47	2	100.0	31,041	3.8	24,369	4.5
4	1,662	10.7	1,306	43.4	326,107	▲11.7	321,632	▲12.4	1.51	2	▲33.3	31,347	4.9	24,138	4.2
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		電気・情報通信		電子部品		窯業・土石製品		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2014年	88.6	1.3	101.4	▲15.7	45.8	▲8.0	92.2	2.8	104.4	1.5	90.5	▲1.2	131.7	8.8
2015年	86.3	▲2.6	85.2	▲15.9	47.6	4.0	91.9	▲0.3	101.6	▲2.7	88.8	▲1.9	142.8	8.4
2016年	87.6	1.5	98.8	16.0	45.6	▲4.2	102.1	11.0	101.5	▲0.1	89.7	1.0	129.5	▲9.3
2016.3	82.3	▲6.9	106.3	35.9	40.9	▲20.6	91.7	▲12.5	97.2	▲6.0	86.2	▲3.6	140.6	4.7
4	83.7	▲5.5	90.7	1.0	43.3	▲16.5	94.2	▲8.2	97.5	▲2.9	90.3	▲0.5	132.9	▲1.6
5	84.9	▲1.4	89.1	3.3	44.2	▲7.5	91.3	▲8.6	100.1	▲0.8	87.7	▲0.4	132.0	▲0.2
6	85.5	▲0.9	91.5	10.2	45.7	▲5.2	102.5	6.8	94.0	▲9.9	91.4	7.5	131.0	▲14.5
7	88.6	▲1.2	95.8	9.9	52.9	10.2	108.3	20.1	100.0	▲9.4	90.7	▲1.6	126.5	▲17.4
8	92.5	11.4	116.0	52.1	50.3	15.2	102.1	24.0	109.4	7.8	92.3	7.3	123.0	▲21.7
9	92.1	10.3	107.9	30.5	45.2	▲0.4	108.0	43.2	109.7	12.8	87.9	0.9	123.6	▲18.7
10	89.7	2.5	101.3	15.1	45.6	3.0	112.5	41.7	105.8	0.9	88.8	▲2.2	124.9	▲14.5
11	88.7	6.0	102.7	19.0	44.7	5.3	108.6	31.6	101.5	2.0	89.8	2.6	121.2	▲14.9
12	91.5	11.0	100.8	10.0	45.8	8.1	114.2	33.9	101.0	4.8	93.1	4.9	119.3	▲13.6
2017.1	95.7	13.4	99.4	5.8	48.5	6.3	117.3	24.4	103.5	7.1	94.7	8.1	117.7	▲15.6
2	91.9	4.8	104.5	10.7	48.6	6.8	120.2	24.5	98.6	▲6.3	91.1	0.6	114.0	▲18.3
3	92.7	12.6	105.2	▲1.1	46.7	14.2	115.1	25.5	99.1	1.9	91.8	6.5	117.3	▲16.6
4														
出所	鹿児島県統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2015年=100) 鹿児島市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2014年	4.6	▲3.2	2,322	▲6.9	965	▲10.2	9,980	▲11.7	▲21.0	▲6.1	12.4	98.8	▲0.6	156,274	▲0.2
2015年	▲15.0	▲31.7	1,982	▲14.6	864	▲10.5	10,578	6.0	0.8	14.9	▲7.7	100.0	1.2	155,870	▲0.3
2016年	▲25.8	▲25.1	2,060	3.9	1,274	47.5	11,613	9.8	3.6	2.9	65.8	100.1	0.0	154,511	▲0.9
2016.3	3.4	▲46.6	173	14.8	60	▲15.4	1,123	45.8	14.5	▲53.3	736.2	99.8	0.2	12,647	▲3.4
4	9.1	▲39.0	158	8.6	113	▲0.2	883	▲4.7	▲10.6	▲8.3	101.8	99.9	▲0.1	11,998	▲1.9
5	▲9.5	▲27.0	150	23.5	71	17.7	760	▲4.9	12.6	▲5.3	▲35.7	100.1	▲0.1	12,771	▲0.3
6	▲47.8	▲20.5	224	28.1	74	▲19.5	1,099	▲5.0	9.7	2.6	▲59.0	99.9	▲0.1	11,341	▲1.5
7	▲17.7	▲15.0	188	▲15.7	98	19.2	1,067	15.6	10.4	▲17.0	313.1	100.0	▲0.3	14,439	0.8
8	32.0	13.7	220	20.1	134	68.1	1,153	21.8	7.9	27.1	52.7	100.0	▲0.4	12,402	▲4.3
9	▲72.7	▲36.4	254	8.8	109	105.5	1,074	27.7	0.2	64.0	14.8	100.3	▲0.2	11,137	▲1.8
10	101.5	▲35.4	213	▲8.7	72	▲24.2	1,050	11.5	▲7.4	31.7	▲18.0	100.6	0.1	12,758	▲2.4
11	▲24.9	13.5	168	14.8	197	299.1	908	▲5.8	6.5	▲12.7	▲19.8	100.7	0.6	13,542	0.8
12	▲38.7	10.8	125	▲26.4	156	198.9	816	▲2.5	21.5	▲13.5	▲23.8	100.3	0.4	18,067	▲0.6
2017.1	▲17.7	47.6	89	9.8	106	▲26.5	754	▲9.3	21.0	▲21.0	▲29.4	100.2	0.7	12,451	1.1
2	▲21.5	80.8	211	99.1	82	81.1	810	▲4.6	2.3	14.5	▲50.3	99.9	0.3	10,669	▲4.0
3	▲23.1	68.9	252	45.3	119	97.0	651	▲42.0	▲12.1	7.3	▲76.8	100.0	0.2	12,342	▲2.4
4	10.0	52.3	238	51.1	132	16.2	793	▲10.2	1.5	▲12.4	▲36.3	100.2	0.3	12,109	0.9
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省					総務省		九州経済産業局			

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 鹿児島市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出			件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2014 年	31,427	3.2	29,256	6.6	435,987	▲6.3	327,504	▲3.2	0.75	75	▲1.3	42,403	3.3	31,603	6.9
2015 年	28,786	▲8.4	24,252	▲17.1	446,776	2.5	311,771	▲4.8	0.89	64	▲14.7	43,634	2.9	33,074	4.7
2016 年	29,773	3.4	22,005	▲9.3	430,492	▲3.6	319,120	2.4	1.09	69	7.8	44,857	2.8	34,839	5.3
2016. 3	3,706	▲2.7	3,710	7.2	331,626	▲20.4	294,534	▲8.6	1.00	6	0.0	43,225	1.1	33,646	6.0
4	1,937	4.0	1,277	▲23.5	343,744	▲11.7	342,756	5.3	1.05	4	▲50.0	44,519	1.6	33,540	6.1
5	1,881	4.6	1,331	▲21.6	290,162	▲20.6	293,128	▲12.8	1.09	4	▲42.9	44,173	1.5	33,542	5.8
6	2,507	8.0	1,494	▲19.4	599,482	5.1	336,882	8.1	1.12	6	20.0	44,414	2.1	33,667	5.8
7	2,760	4.9	1,710	▲7.4	411,516	▲20.5	321,975	0.5	1.11	7	16.7	44,077	2.9	33,891	5.9
8	2,150	2.8	1,534	▲7.5	383,038	▲13.7	348,904	▲19.8	1.12	6	20.0	44,201	2.1	33,965	5.8
9	2,752	▲4.3	2,050	▲6.3	351,687	6.4	322,451	14.9	1.12	8	60.0	43,757	2.0	34,026	5.4
10	2,205	1.0	1,603	▲0.6	435,571	▲3.5	323,554	11.9	1.16	4	100.0	43,853	1.9	34,158	5.3
11	2,683	20.4	1,495	▲7.3	359,760	16.4	291,128	15.9	1.16	5	25.0	44,030	1.6	34,294	4.8
12	2,741	21.6	1,588	4.0	885,578	13.6	375,368	24.2	1.19	5	25.0	44,857	2.8	34,839	5.3
2017. 1	2,227	13.9	1,860	▲10.0	410,108	18.0	315,502	2.8	1.19	3	▲57.1	44,397	2.8	34,771	5.1
2	2,868	14.9	2,074	▲3.4	453,006	6.3	312,349	14.9	1.18	7	0.0	44,780	2.6	34,868	5.2
3	4,289	15.7	2,933	▲20.9	364,754	10.0	348,924	18.5	1.19	5	▲16.7	45,148	4.4	34,850	3.6
4	2,208	14.0	1,823	42.8	440,001	28.0	290,603	▲15.2	1.24	5	25.0	45,797	2.9	34,797	3.7
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。



お気軽に
お越しください。
福岡銀行の
建築士がご相談を
無料で承ります。



収納体験コーナー

可動式の収納棚で、奥行きや高さの違いによる使い勝手を体験できます。



間取り・インテリア シミュレーション

間取り・インテリアのシミュレーションができます。



写真コーナー

自由にパネルを引き出して、住まいの構造やインテリアテイストを写真でご覧いただけます。

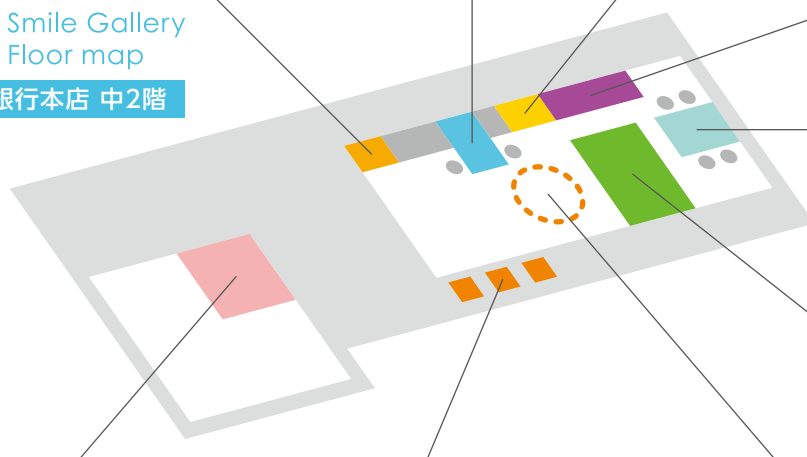


サンプル・カタログ・ 図書コーナー

住まいづくりに関するサンプル・カタログ・本を自由にご覧いただけます。



福岡銀行本店 中2階



相談コーナー

建築士が無料で住まいづくりのご相談を承ります。



キッズコーナー

お子様が楽しく遊べる専用スペースをご用意しました。



模型コーナー

立体模型を展示しています。



セミナースペース

住まいづくりに役立つセミナーを随時開催しています。日程や内容については、スタッフまでお問い合わせください。



空間体験コーナー

スクリーンを利用して、4.5畳・6畳など空間の大きさ、ドアノブやスイッチの高さなどを体感できます。

住まいの購入やリフォームはわからないことがいっぱい！
 住まいづくりの『？』や『🌀』(困った)を『😊』に。



住まいるギャラリー

FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

あなたの疑問・不安を福岡銀行の建築士が解決します。住まいに関すること、なんでもお気軽にご相談ください。

1

住宅の専門家に相談できる！

- 住まいの購入について
- リフォームについて
- インテリアについて
- 間取り・パース(完成予想図)の作成

建築士がお手伝いします。

※受付状況によってお待ちいただくことがあります。



住まいる手帳

ステップに応じて住まいづくりをサポートする「住まいる手帳」。住まいるギャラリーで相談する際はもちろん、打合せメモとしてもご活用ください。

2

情報収集できる！

- 住まいの本・インテリア雑誌
- カタログ・サンプル
- 建築模型

ご自由にご覧になれます。



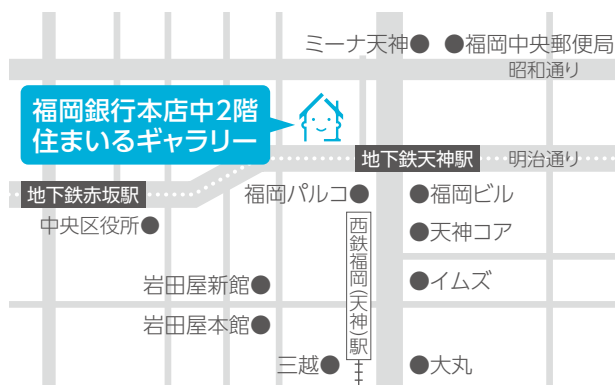
3

セミナーで学べる！

住まいの購入やインテリアを学ぶセミナーを、定期的に開催しています。

【セミナー例】

- ◎マイホーム購入の第一歩 ～住宅購入の流れと資金計画～
- ◎住宅展示場・モデルルーム見学のポイント
- ◎築年数別に考える住まいのリフォーム・メンテナンス など



お問い合わせ



住まいるギャラリー

FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店中2階
 【営業時間】平日／9:00～17:00 土曜／10:00～17:00
 ※日曜・祝日および12月31日～1月3日はお休みさせていただきます。

TEL 092-723-2290
<http://www.fukuokabank.co.jp>



香港の超密集アパート(クォーリーベイ:Quarry Bay)

「100万ドルの夜景」として有名な都市、香港。

2010年に完成した地上118階建ての世界貿易センタービルなどに代表されるように、高層の建物が世界で一番多い地域です。香港の面積は1,103km²で沖縄本島とほぼ同じ広さ、人口は約729万人と、世界で4番目に高い人口密度を誇っています。

住宅として利用できる土地が限られている為、人々は居住区を上には伸ばして生活しています。

この超密集アパートの風景は、ハリウッド映画のロケ地となり注目を集めています。

香港駐在員事務所 石本 恒義





[Data]

香港 基礎データ

面 積	1,103平方キロメートル(東京都の約半分)
人 口	約729万人(2015年7月)
政 体	中華人民共和国香港特別行政区
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業(香港政府統計処)
主要貿易相手国・地域	
輸出:	1.中国(53.7%) 2.米国(9.5%) 3.日本(3.4%)
輸入:	1.中国(49.0%) 2.台湾(6.8%) 3.日本(6.4%)

私の夢に付き合ってくれた
家族と愛犬に感謝しています。

あなたのいちばんに。

日本犬全国展覧会 最高賞
「柴犬・豊後帝姫号」
みかとひめ



中野さんファミリー。柴犬「豊後帝姫号」も家族の一員だ。

profile

中野 哲也

NAKANO TETSUYA

大分県日田市在住

職 業 団体職員

所 属 日本犬保存会 大分支部
九州純犬会

九州の達人
Master of Kyushu

| 30 |

頑張るあなたを紹介するコーナーです

日本一の柴犬「姫」

昨年11月に行われた「第113回日本犬全国展覧会」で中野哲也さんの柴犬・豊後帝姫号が、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞した。大分県内では35年ぶり、九州でも13年ぶりの快挙だ。

ハンドラー（犬を調教する人）の勉強をしていた中野さんは3年前、獣医師から生後2歳の帝姫を譲り受けた。

「立ち姿が凛として、この犬とだったら日本一になれるかもしれないと思いました」

大会では目や耳、尾などの外貌だけでなく、歩き方や立ち方も審査対象になる。

「今まで姫には大会出場の為に厳しいトレーニングや食事制限を課してきました。日本一になったので、今後はゆつくりさせたいですね」





 福岡銀行



 熊本銀行



 親和銀行